
川辺町公共施設等総合管理計画

平成28年3月

川 辺 町

目 次

序 章 公共施設等総合管理計画の背景と位置付け	1
1. 計画策定の背景	1
2. 計画の位置付け	1
3. 計画期間の設定	2
第1章 本町の状況	3
1. 人口に関する状況	3
2. 財政に関する状況	6
3. 土地利用に関する状況	8
4. 保有する公共施設等の状況	11
5. 公共施設等に係る課題	18
第2章 公共施設等に関する基本方針	20
1. 点検・診断等の実施方針	20
2. 維持管理・修繕・更新等の実施方針	20
3. 安全確保の実施方針	20
4. 耐震化の実施方針	21
5. 長寿命化の実施方針	21
6. 統合や廃止の推進方針	21
7. 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針	21
第3章 公共施設等の施設類型ごとの管理に関する基本方針	22
1. 行政系施設	24
2. 町民文化系施設	26
3. 子育て支援施設	27
4. スポーツ・レクリエーション系施設	28
5. 学校教育系施設	29

6. 公営住宅	30
7. その他	31
8. 道路	32
9. 橋りょう	33
10. 上水道	34
11. 下水道	35
12. 公園	36
第4章 フォローアップの方針等	37
1. 公共施設等総合管理計画の推進	37
2. 町民への情報提供	37
3. 計画推進のマネジメント	37

序 章 公共施設等総合管理計画の背景と位置付け

1. 計画策定の背景

全国的に、厳しい財政状況が続く中で、保有する公共施設・インフラ資産（以下、「公共施設等」という。）の老朽化が進む一方、今後、人口減少等の社会情勢の変化に伴い、公共施設等の利用ニーズの変化への対応も必要となることを踏まえ、早急に公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要となってきています。そこで、速やかに公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画策定に取り組むよう、平成26年4月22日に総務省より「公共施設等総合管理計画」の策定要請がありました。

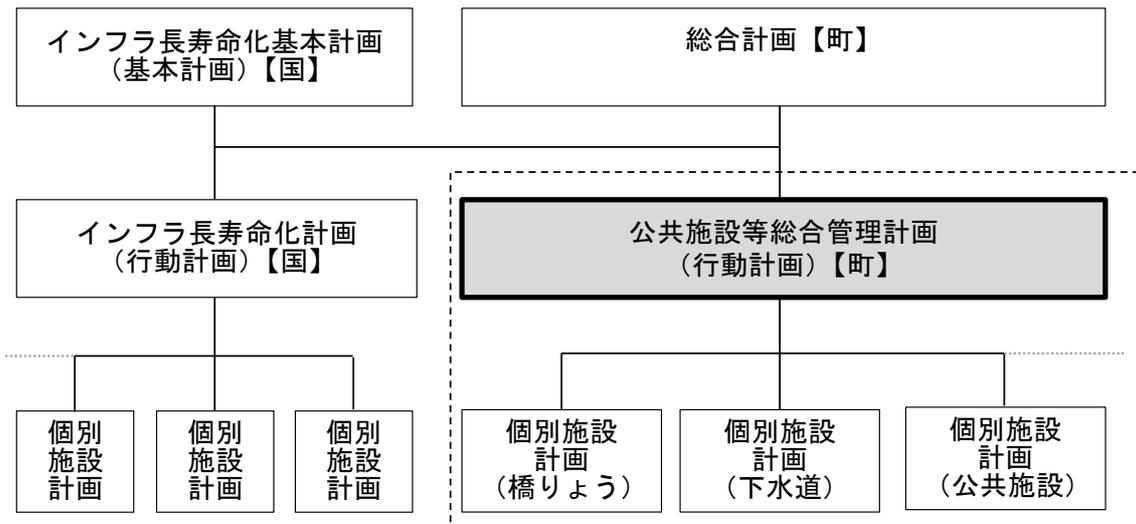
そこで、川辺町（以下、「本町」という。）においても、公共施設等の状況を把握し、財政負担を軽減・平準化するとともに、適正な配置を実現するために「公共施設等総合管理計画」を策定するものです。

2. 計画の位置付け

本計画は、総合計画の下位計画として、また、公共施設等に係る個別施設計画の上位計画として位置付けられています。

なお、本計画は、地方公共団体における「行動計画」に相当し、本町の保有する公共施設等について総合的かつ計画的な管理の基本的な方針を示すものです。

◆公共施設等総合管理計画の位置付け



3. 計画期間の設定

本町の上位計画である平成27年4月を始期とする「川辺町第5次総合計画」の実施期間との整合を取り、平成36年までの10年間を計画期間と設定します。

なお、社会情勢等の動向を把握しつつ、計画期間途中にも適宜見直しを行うことができるよう、柔軟性を持たせます。

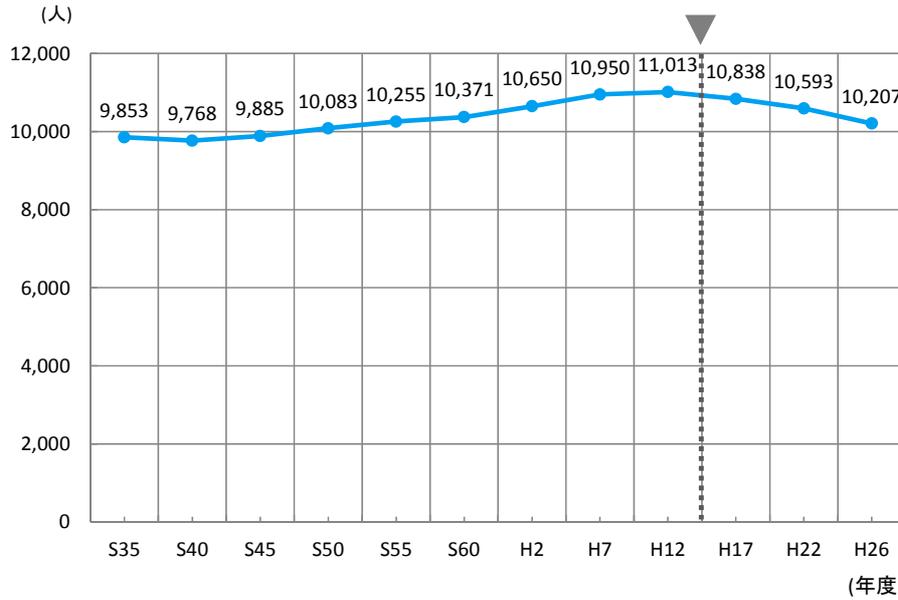
また、総務省の総合管理計画策定指針では、計画期間は「少なくとも10年以上」としつつも、約30年先を見据えて計画を策定するものとしていることから、計画期間終了後も効果的・計画的に公共施設等を継続して維持管理していくために、次の計画策定を見据えたものとします。

第1章 本町の状況

1. 人口に関する状況

(1) 総人口の推移

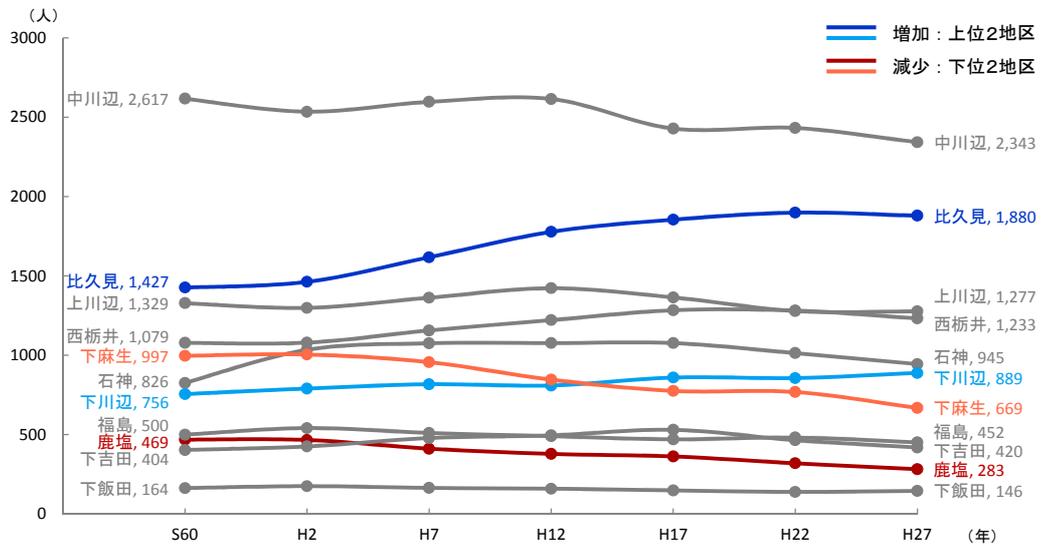
総人口は、平成12（2000）年をピークに緩やかに減少しています。平成26（2014）年の人口は10,207人となっており、昭和55（1980）年の人口と同等の水準となっています。



(資料：川辺町人口ビジョン 平成28年2月)

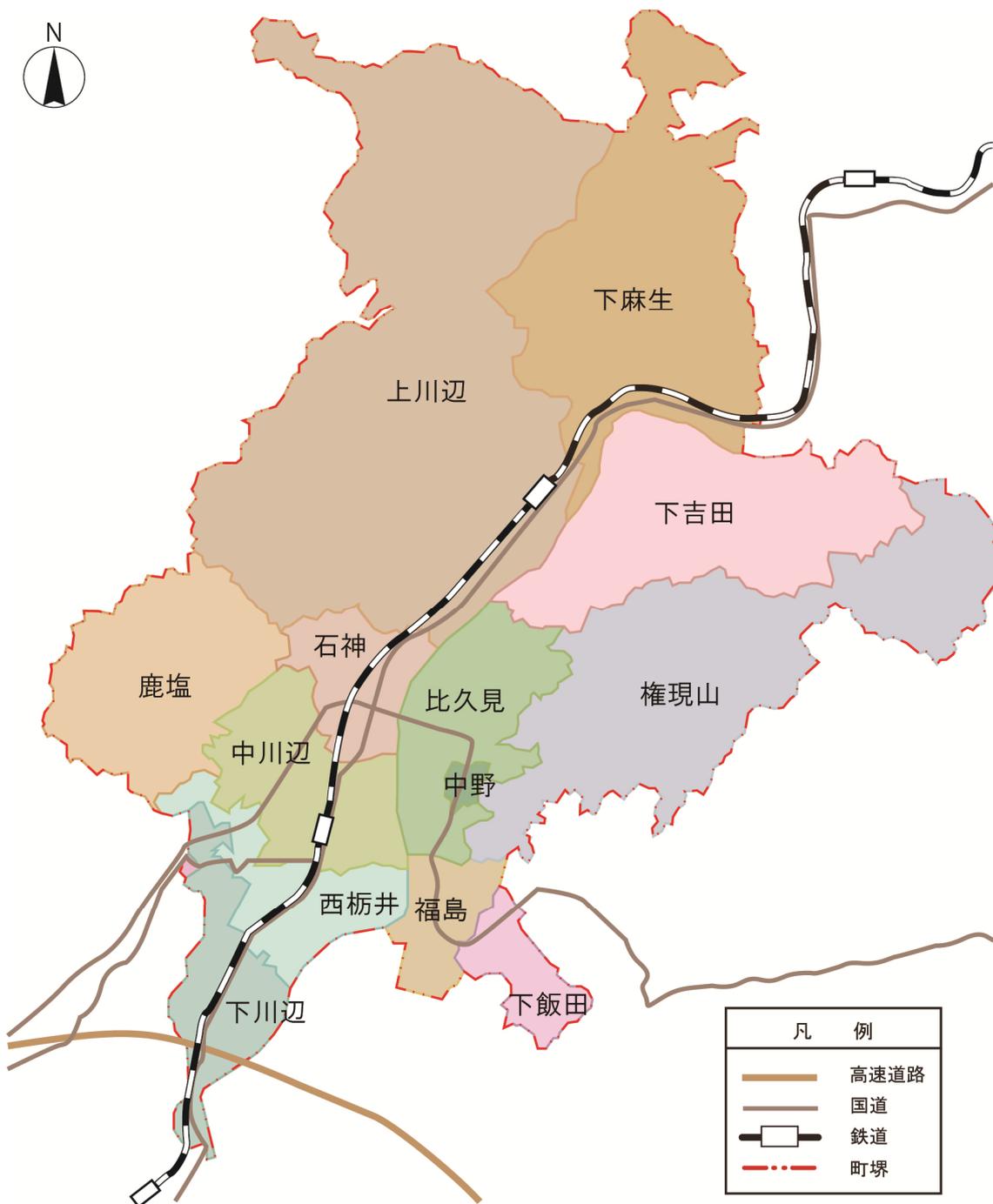
(2) 地区別人口の推移

地区別人口は、比久見、下川辺で昭和60（1985）年と比較して1.2倍～1.3倍に人口が増えていますが、下麻生、鹿塩では3割～4割人口が減少しており、地区ごとに人口の推移にばらつきがあります。



(資料：川辺町人口ビジョン 平成28年2月)

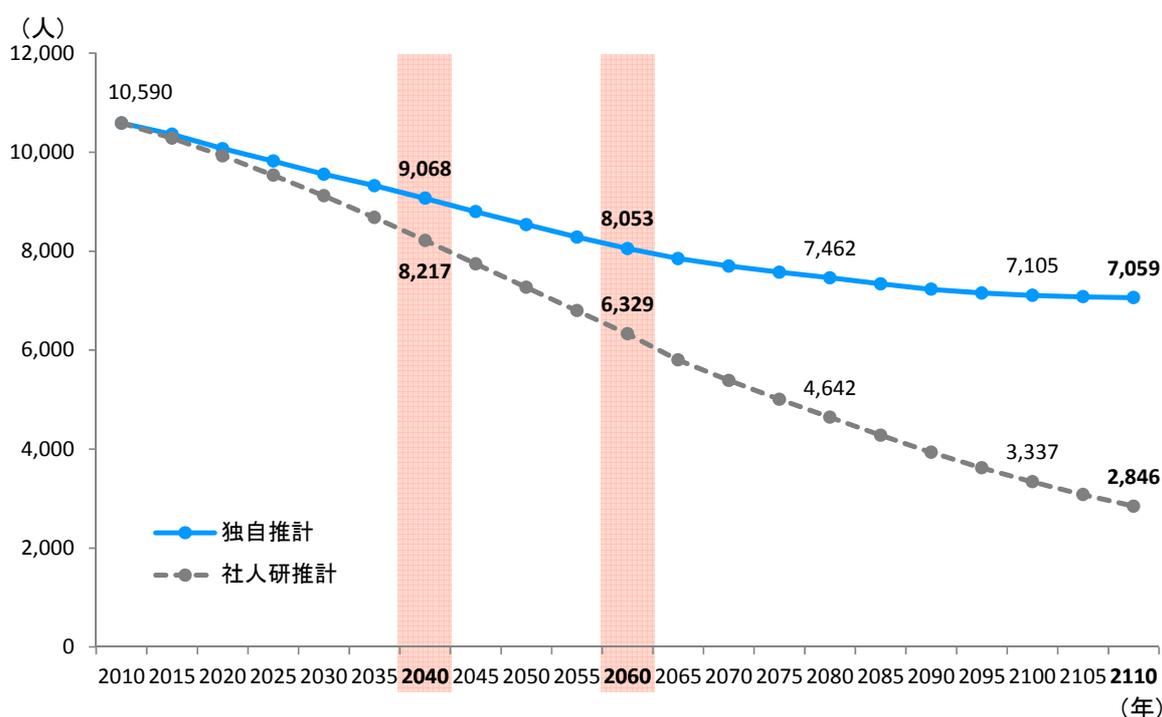
◆川辺町の大字区分図



(3) 将来人口推計

本町の将来人口は人口ビジョンに基づくと、2010年時点と比べて2040年には約3割減少、2060年には約4割減少します。また、2110年には3,000人を割り込むと予測されます(社人研推計)。一方、人口減少対策として、合計特殊出生率を2030年までに1.8、2040年までに2.07に回復させ、その後2.07で推移させ、人口移動はゼロ(転入・転出が同数)とした場合、2010年時点と比べて2040年には約1.5割減少、2060年には約2.5割減少にとどまり、2110年には約7,000人で人口が下げ止まると予測されます。

そこで、人口ビジョンでは将来人口の目標を、2040年に9,100人、2060年に8,100人維持を目指すとしています。



(資料：川辺町人口ビジョン 平成28年2月)

※独自推計の条件

自然動態：合計特殊出生率を2030年までに1.8、2040年までに2.07まで上昇

社会動態：社会移動を均衡

人口ビジョンにおける目標

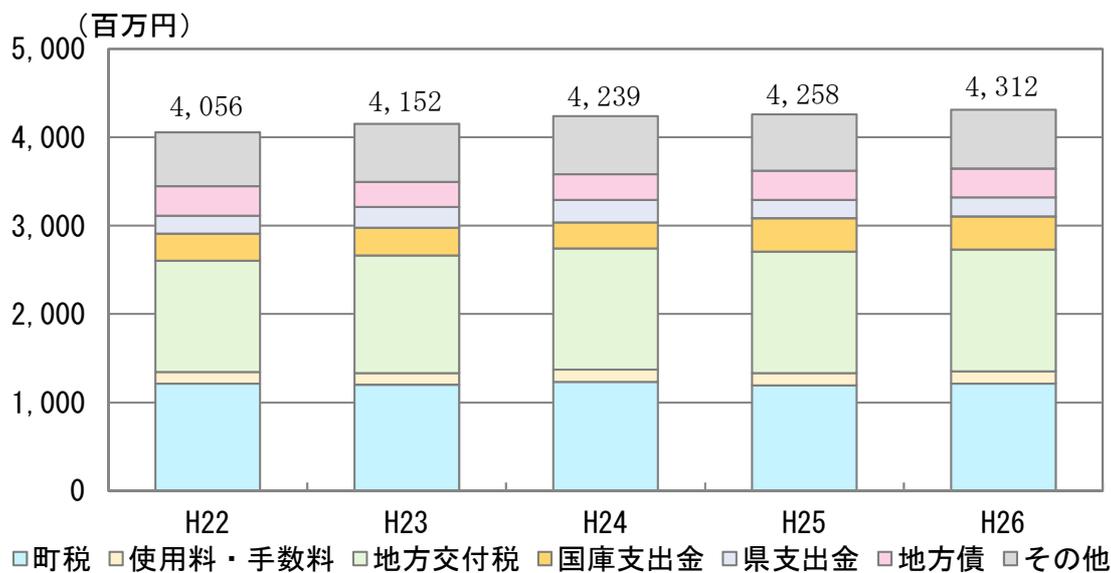
2040年に **9,100人**、2060年に **8,100人** を目指す。

(2100年以降も **7,000人程度** を維持)

2. 財政に関する状況

(1) 歳入決算額の推移（普通会計）

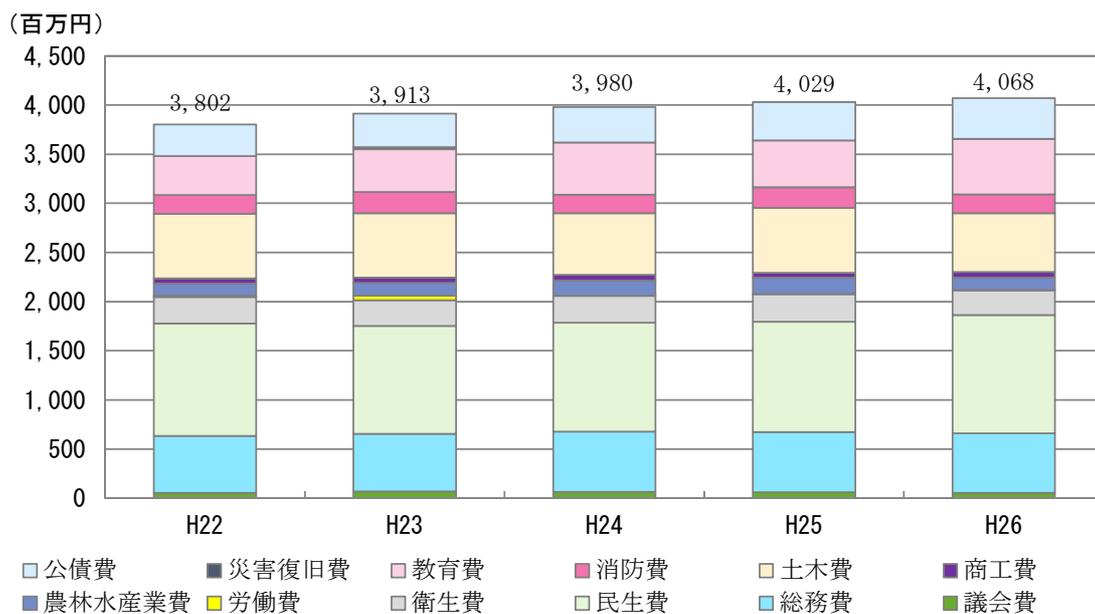
本町の歳入総額は微増しており、平成26年度の時点では約43億円となっています。ただし、歳入の内訳を見ると、町税は横ばいであり、平成26年度の時点では約12億円となっています。



(資料 決算統計 平成22～26年)

(2) 目的別歳出決算額の推移（普通会計）

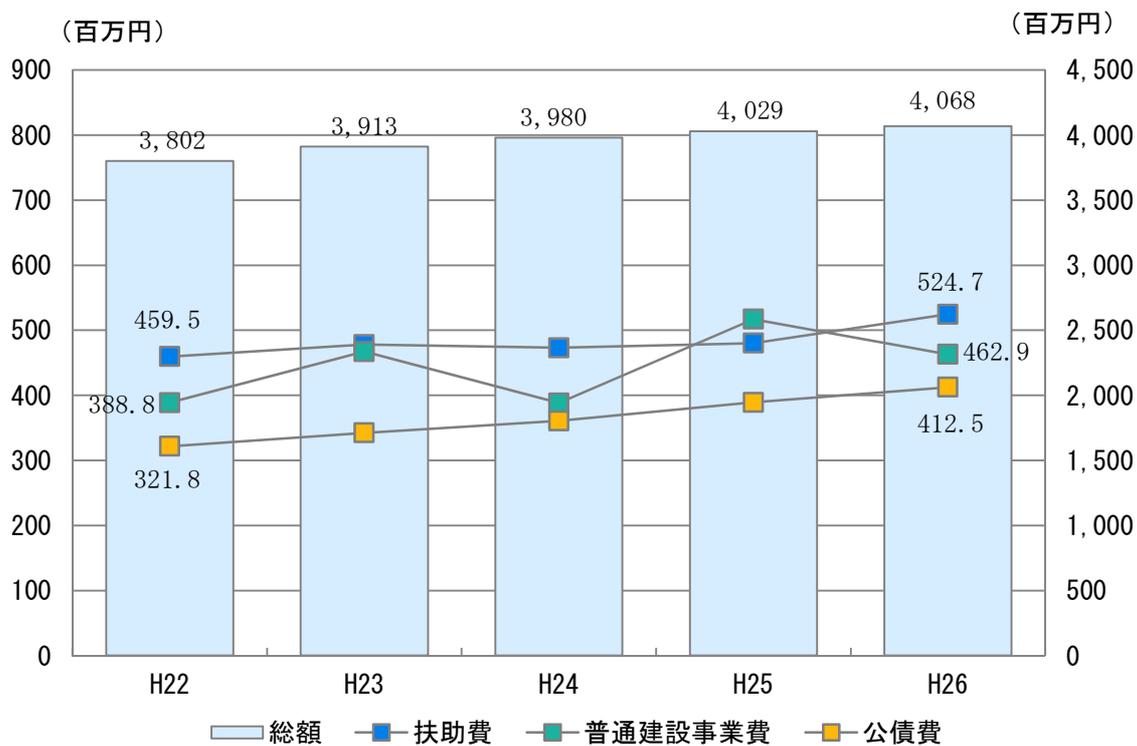
本町の歳出総額は微増しており、平成26年度の時点では約41億円となっています。歳出の内訳を見ると、民生費が最も多く、平成26年度の時点では約12億円となっています。



(資料 決算統計 平成22～26年)

(3) 性質別歳出決算額の推移（普通会計）

本町の性質別歳出を見ると、普通建設事業費は、年度によるばらつきはありますが、おおよそ横ばいであり、平成26年度の時点では約4.6億円となっています。一方で、公債費及び扶助費は微増しており、平成26年度の時点では公債費が約4.1億円、扶助費が約5.2億円となっています。

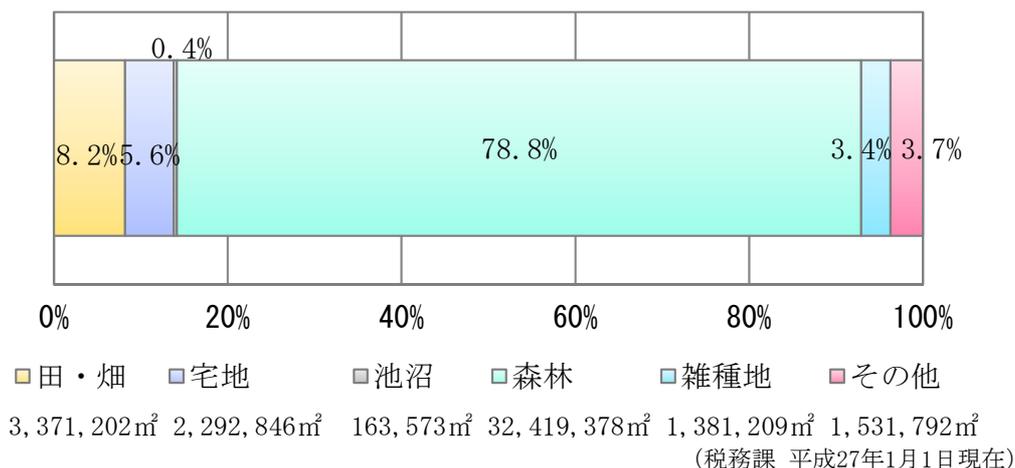


(資料 決算統計 平成22～26年)

3. 土地利用に関する状況

(1) 土地利用の状況

本町の土地利用は森林が町域の約80%と大部分を占めている一方、宅地は約6%という状況です。田・畑は約8%と、宅地面積よりも多くの面積を占めています。



(2) 用途地域の状況

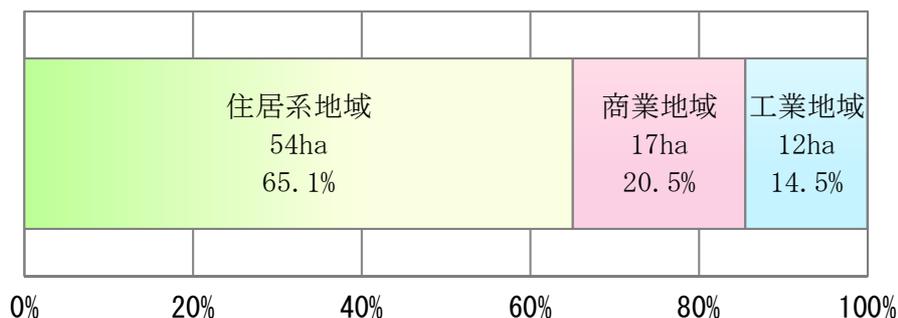
本町は昭和49年に全域が都市計画区域に指定されていますが、区域内の線引きは実施されていません。都市計画区域のうち用途地域の面積は83haと、全体の約2%となっています。用途地域の内訳を見ると住居系の地域が最も多く約65%を占めています。

※四捨五入の関係で、合計が100%にならないことがあります。

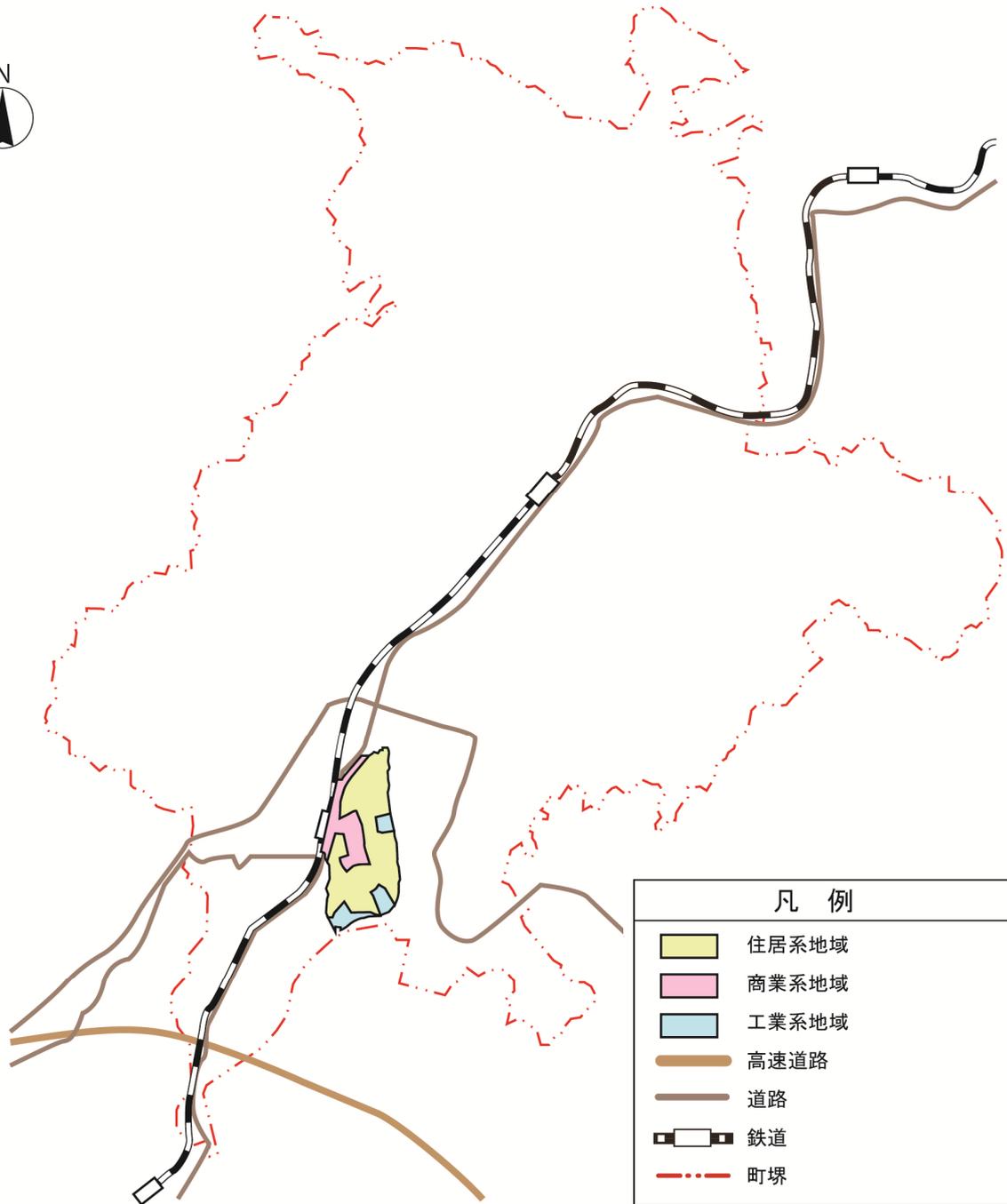
区分	面積 (ha)	総面積に対する割合 (%)	用途地域に対する割合 (%)
総面積	4,116	100.0	—
用途地域指定面積	83	2.0	100.0
住居系地域	54	1.3	65.1
商業系地域	17	0.4	20.5
工業系地域	12	0.3	14.5

(資料 基盤整備課)

◆用途地域指定面積の区分別比率



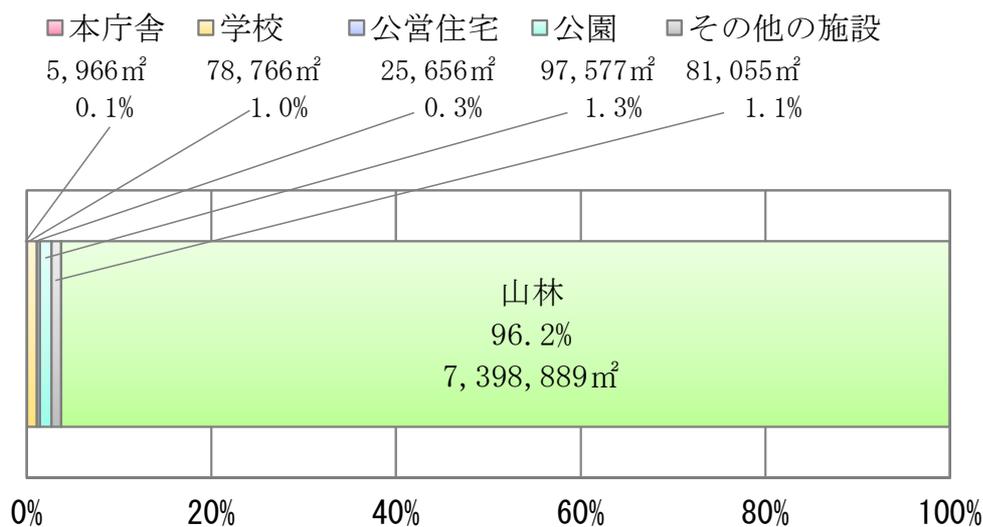
◆用途地域図



(3) 町有の土地

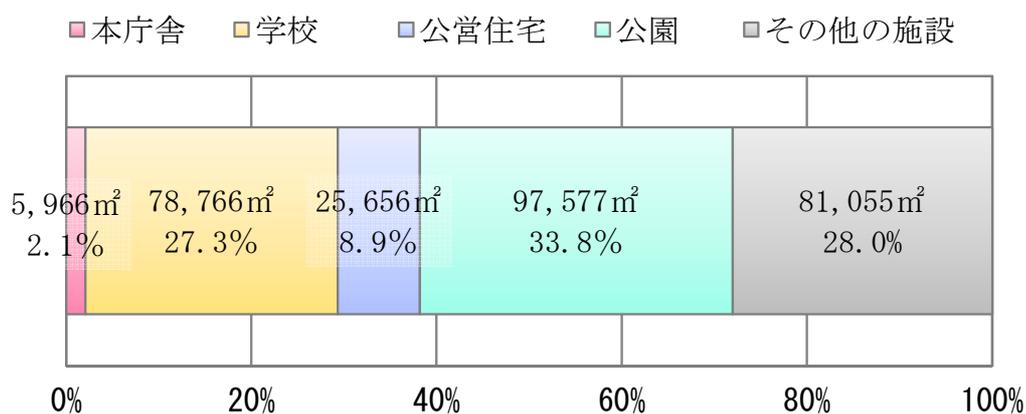
本町の保有する町有地は全体で約769万㎡であり、そのうち、山林が約96%と大部分を占めています。一方、森林を除いた町有地は全体の約4%ではありますが、面積としては、約29万㎡を有しています。

また、森林を除いた町有地の内訳を見ると、公園が最も多く、全体の約34%を占めており、次いでその他の施設、学校の順となっています。



資料 決算書 (財産に関する調書 平成27年3月31日現在)

◆山林を除いた町有地の比率



資料 決算書 (財産に関する調書 平成27年3月31日現在)

4. 保有する公共施設等の状況

(1) 対象とする公共施設の保有状況及び区分の設定

総務省の公共施設更新費用試算ソフトを用いて、本町の保有する公共施設の将来の更新費用を試算するために、以下のとおり対象となる公共施設を設定し、大分類・中分類に区分します。

※公園については、インフラ資産で整理するため以下の表には含めていませんが、公園に付随する施設の大規模改修・建替えの費用については、ソフトの仕様上、公共施設の更新費用に含まれます。

施設区分		主要施設内訳
大分類	中分類	
① 行政系施設	庁舎等	庁舎及び保健センター、旧庁舎
	消防施設	上川辺消防車庫兼詰所、下麻生消防車庫兼詰所、中川辺消防車庫兼詰所、福島消防詰所、下吉田消防詰所、水防倉庫、鹿塩消防コミュニティセンター、比久見消防コミュニティセンター、西栃井・下川辺消防コミュニティセンター
② 町民文化系施設	文化施設	ギャラリー山恵
	集会施設	中央公民館、北部公民館
③ 子育て支援施設	幼稚園・保育園・こども園	第一保育所、第二保育所、第三保育所・児童館
④ スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	B&G 海洋センター
⑤ 学校教育系施設	学校	川辺西小学校、川辺北小学校、川辺東小学校、川辺中学校
	その他教育施設	学校給食センター
⑥ 公営住宅	公営住宅	川辺西タウン、川辺東タウン
⑦ その他	その他	やすらぎの家、教員住宅（福島）、教員住宅（比久見）、教員住宅（中川辺本御堂）、教員住宅（中川辺濡枝）

(2) 公共施設の状況

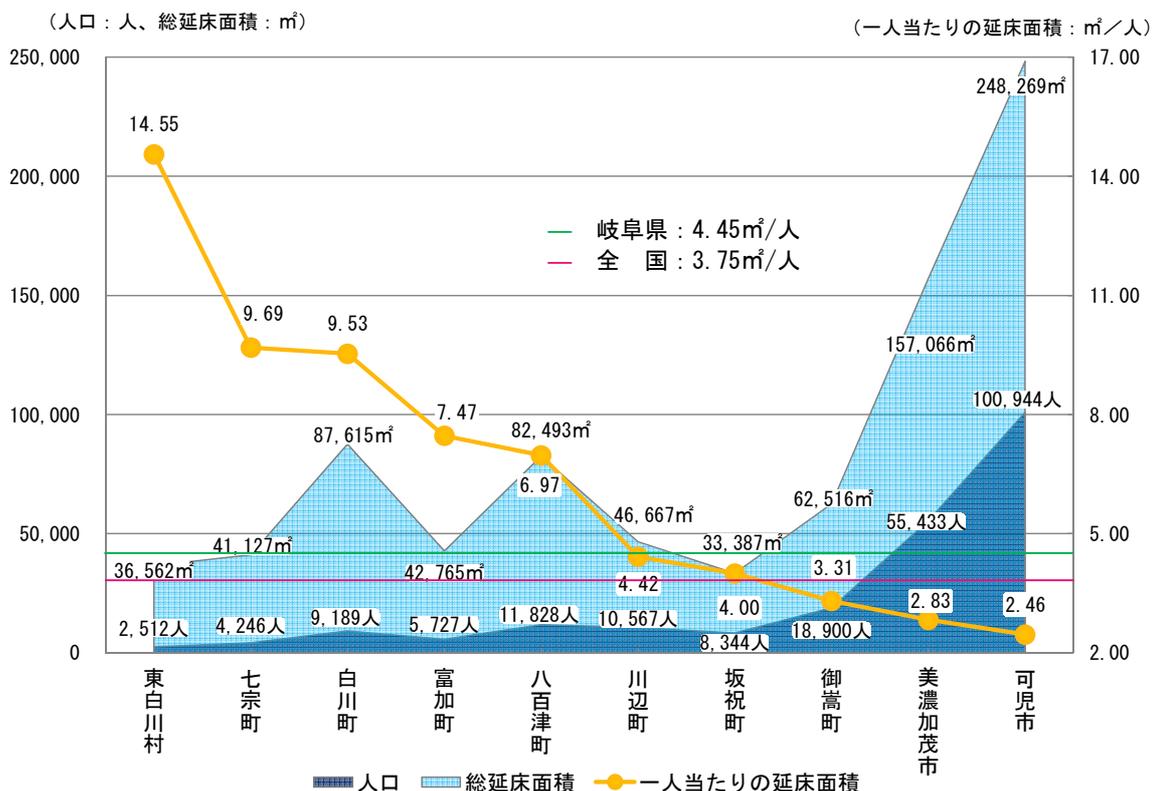
本町の保有する公共施設は以下のとおりです。総数をみると、施設数は30施設、総延床面積は約4.7万㎡です。また、最も保有する施設数の多い施設区分（中分類）は消防施設の9施設となりますが、最も延床面積の多い施設区分（中分類）は学校の約2.0万㎡となります。

施設区分		施設数	延床面積
大分類	中分類		
① 行政系施設	庁舎等	2	3,939㎡
	消防施設	9	691㎡
② 町民文化系施設	文化施設	1	168㎡
	集会施設	2	3,882㎡
③ 子育て支援施設	幼稚園・保育園・ こども園	3	3,863㎡
④ スポーツ・レクリエー ション系施設	スポーツ施設	1	1,936㎡
⑤ 学校教育系 施設	学校	4	19,779㎡
	その他教育施設	1	817㎡
⑥ 公営住宅	公営住宅	2	9,096㎡
⑦ その他	その他	5	2,496㎡
計		30	46,667㎡

※幾つかの棟については延床面積が不明となっています。

(3) 公共施設延床面積の近隣自治体との比較

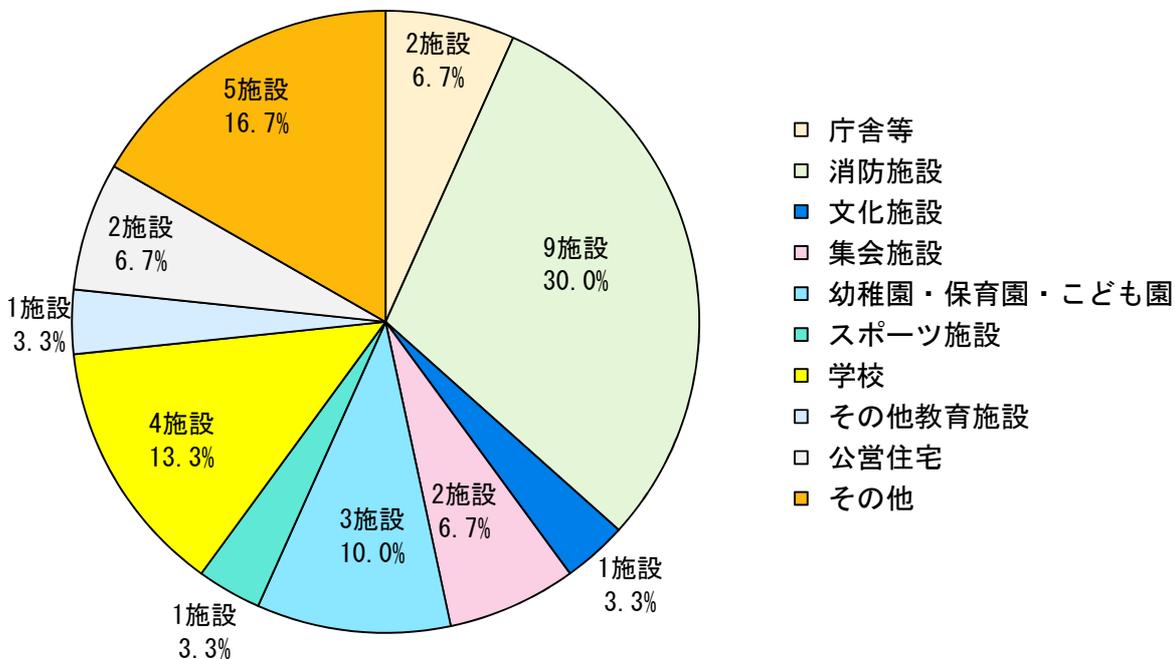
本町の人口一人当たりの延床面積（4.42㎡/人）は、県内の近隣自治体と比較すると、可児市・美濃加茂市・御嵩町・坂祝町よりは多い値となります。また、本町の人口一人当たりの延床面積は、岐阜県（4.45㎡/人）と比較すると少ないですが、全国（3.75㎡/人）と比較すると多い値となっています。



	人口	総延床面積	一人当たりの延床面積
東白川村	2,512人	36,562㎡	14.55㎡/人
七宗町	4,246人	41,127㎡	9.69㎡/人
白川町	9,189人	87,615㎡	9.53㎡/人
富加町	5,727人	42,765㎡	7.47㎡/人
八百津町	11,828人	82,493㎡	6.97㎡/人
川辺町	10,567人	46,667㎡	4.42㎡/人
坂祝町	8,344人	33,387㎡	4.00㎡/人
御嵩町	18,900人	62,516㎡	3.31㎡/人
美濃加茂市	55,433人	157,066㎡	2.83㎡/人
可児市	100,944人	248,269㎡	2.46㎡/人
岐阜県	2,087,595人	9,288,709㎡	4.45㎡/人
全国	128,226,483人	480,483,558㎡	3.75㎡/人

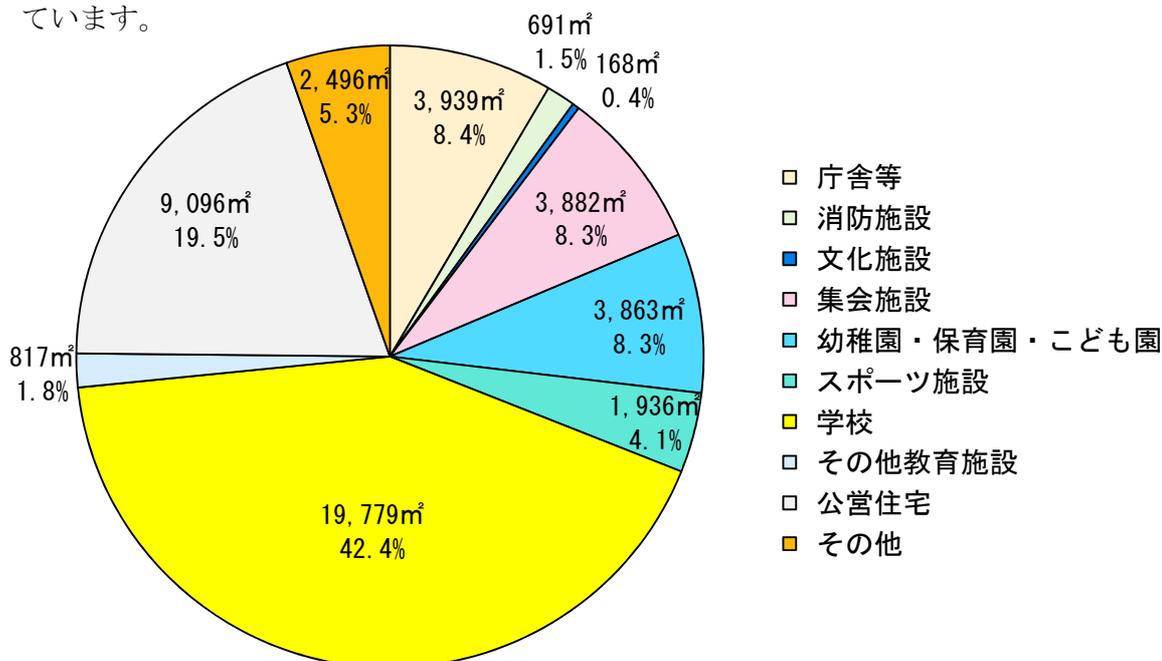
(4) 施設区分別施設数比率

施設区分ごとの施設数比率では、最も多いものが消防施設の9施設となっており、全体の約30%を占めています。次いで、そのほか5施設と全体の約17%を占めています。



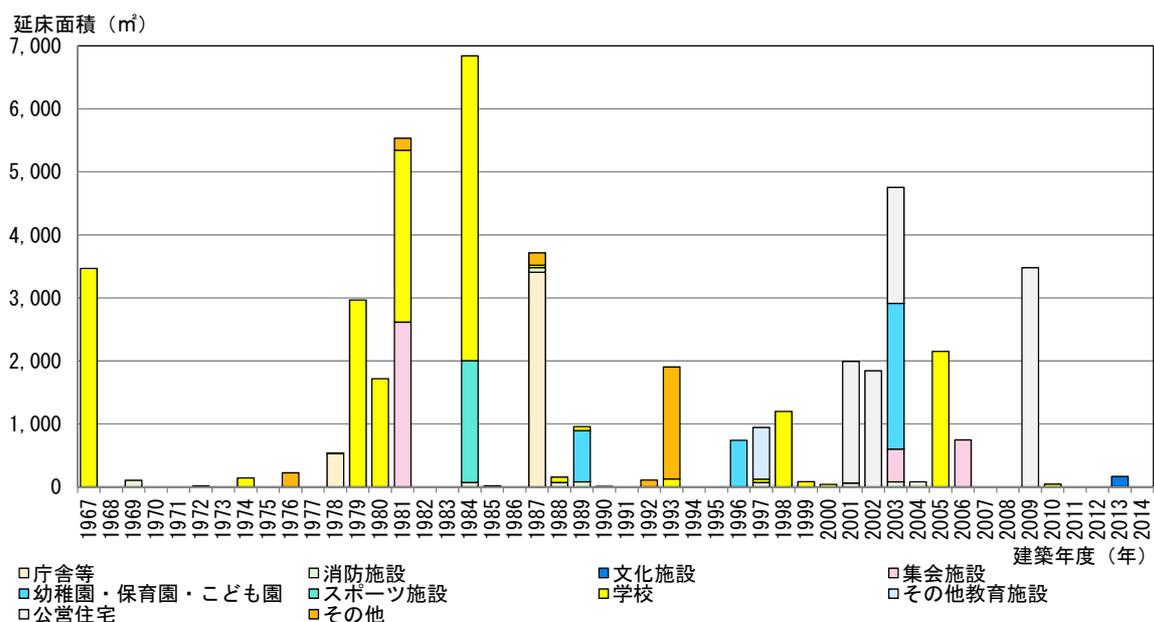
(5) 施設区分別面積比率

施設区分ごとの延床面積比率では、最も多いものが学校の約20,000㎡となっており全体の約42%を占めています。次いで、公営住宅の約9,000㎡が全体の約20%を占めています。



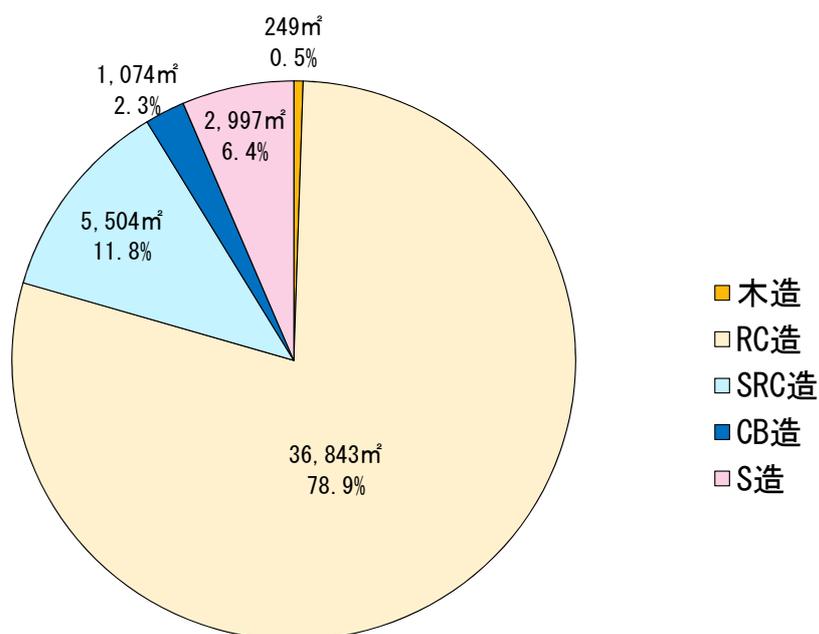
(6) 建築年施設区分別延床面積

建設年別の施設区分別延床面積をみると、1984年に最も多くの面積が増加しており、その大半を学校が占めています。また、旧耐震基準（1981年以前）の時期に面積の大きい学校が建設されています。一方で、2000年以降には公営住宅が主に建設されています。



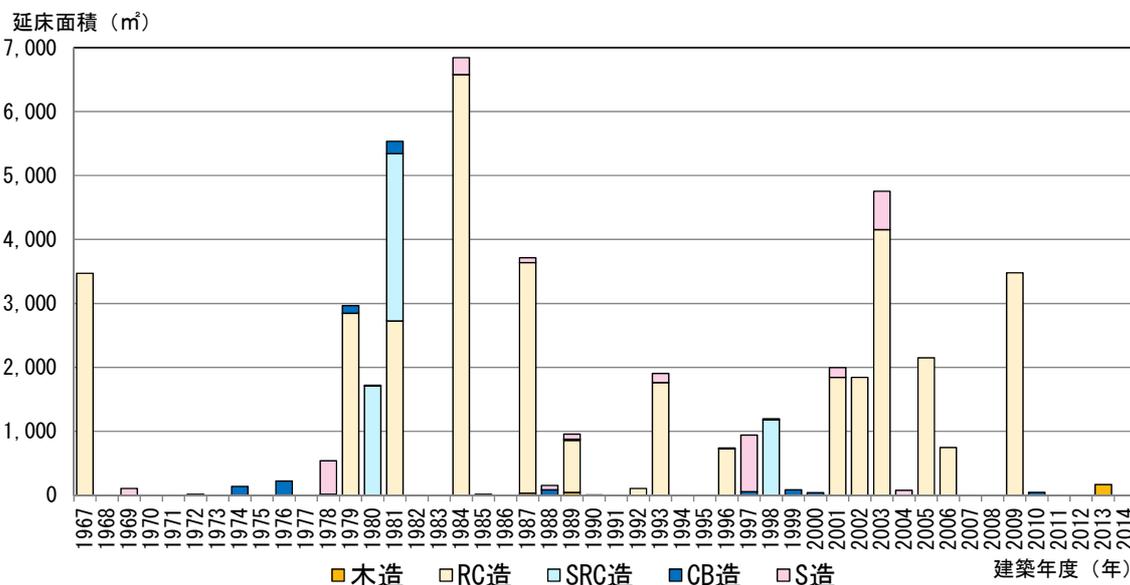
(7) 構造別面積比率

構造別の延床面積比率では、最も多いものはRC造の約37,000㎡となっており、全体の約79%を占めています。次いで、SRC造、S造となっている一方、最も少ないものは木造となっています。



(8) 建築年別構造別延床面積

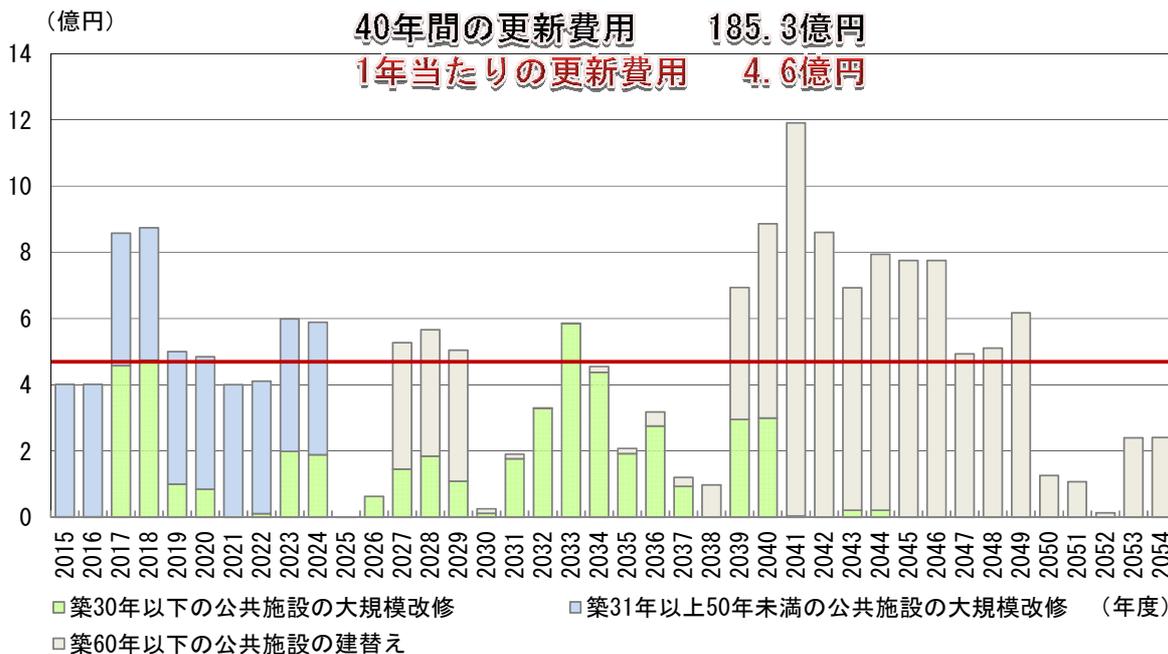
建設年別の構造別延床面積をみると、RC造の施設は1967年から2009年までまんべんなく分布していることが分かります。また、2013年に建設された最も建設時期の新しい施設は木造の施設となっています。



(9) 公共施設の将来の更新費用

今後40年間における公共施設の更新費用の総額は約185.3億円となっています。平均すると、1年あたり約4.6億円の費用が必要となっています。また、特に2039年から2049年に築60年以下の公共施設の建替えが集中していることがわかります。

※延床面積が不明の棟については、下記金額に計上されておりません。



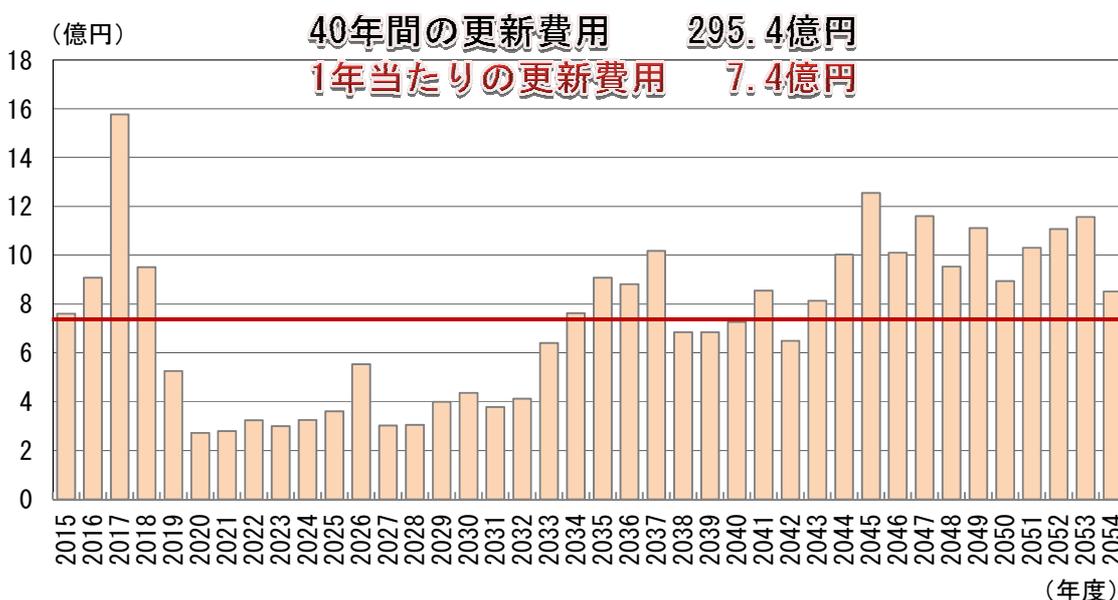
(10) 対象とするインフラ資産の保有状況

本町の保有するインフラ資産は以下に示すように道路延長約174km、橋りょう115橋、上水道管延長約119km、下水道管延長約138kmになっています。

インフラ資産	区分	数量
道路	実延長	174,209m
	道路面積 道路部	735,690 m ²
橋りょう	橋りょう数	115 橋 (15m未満：106 橋、15m以上：9 橋)
	橋りょう面積	4,278 m ²
上水道	上水道管延長	118,721m
	上水道施設等	山楠配水場管理棟 (延床面積：259 m ²) 加圧ポンプ所：7 箇所
下水道	下水道管延長	138,034m
	下水道施設等	かしおクリーンセンター (延床面積：140 m ²) マンホールポンプ：42 箇所
公園	公園数・面積	9 箇所 (公園面積：122,733 m ²)
	付随施設延床面積	延床面積：54 m ²

(11) インフラ資産の将来の更新費用

今後40年間におけるインフラ資産全体の更新費用の総額は約295.4億円となっています。平均すると、1年あたり約7.4億円の費用が必要となっています。



5. 公共施設等に係る課題

(1) 人口

本町の人口は、人口問題研究所の推計によると、今後、一貫して減少し、平成52年の時点では8,217人との推測がなされています。また、年齢別の割合を見ると、平成52年の時点では15歳未満の人口の占める割合は約10.5%であるのに対し、65歳以上の人口の占める割合約38.5%と大きな差があることが分かります。また、15歳以上65歳未満の人口の占める割合も減少しているため、このような状況が続いた場合、人口構造の変化に伴う公共施設の利用ニーズの変化や高齢者増加に伴う扶助費の増加による財政圧迫、若い世代への財政負担の増加等が懸念されます。

(2) 財政

本町の歳入状況を見ると、町税が横ばいである一方、歳出を見ると、公債費及び扶助費が増加しています。今後、人口が減少していく中では、町税の減少が予測されますが、一方で、高齢者の占める人口割合は増加するため、扶助費の額も上昇していくことが予測されます。そのため、公共施設に充てられる費用は減少していくことが予測されます。その中で、公共施設等の老朽化が進んでおり、今後、施設の改修・更新時期が集中して訪れると、多大な財政圧迫が想定されます。さらに、財政不足に陥ると改修・更新不可能な施設も生じ、老朽化に伴う公共サービスの質の低下や利用者への危険性等が懸念されます。

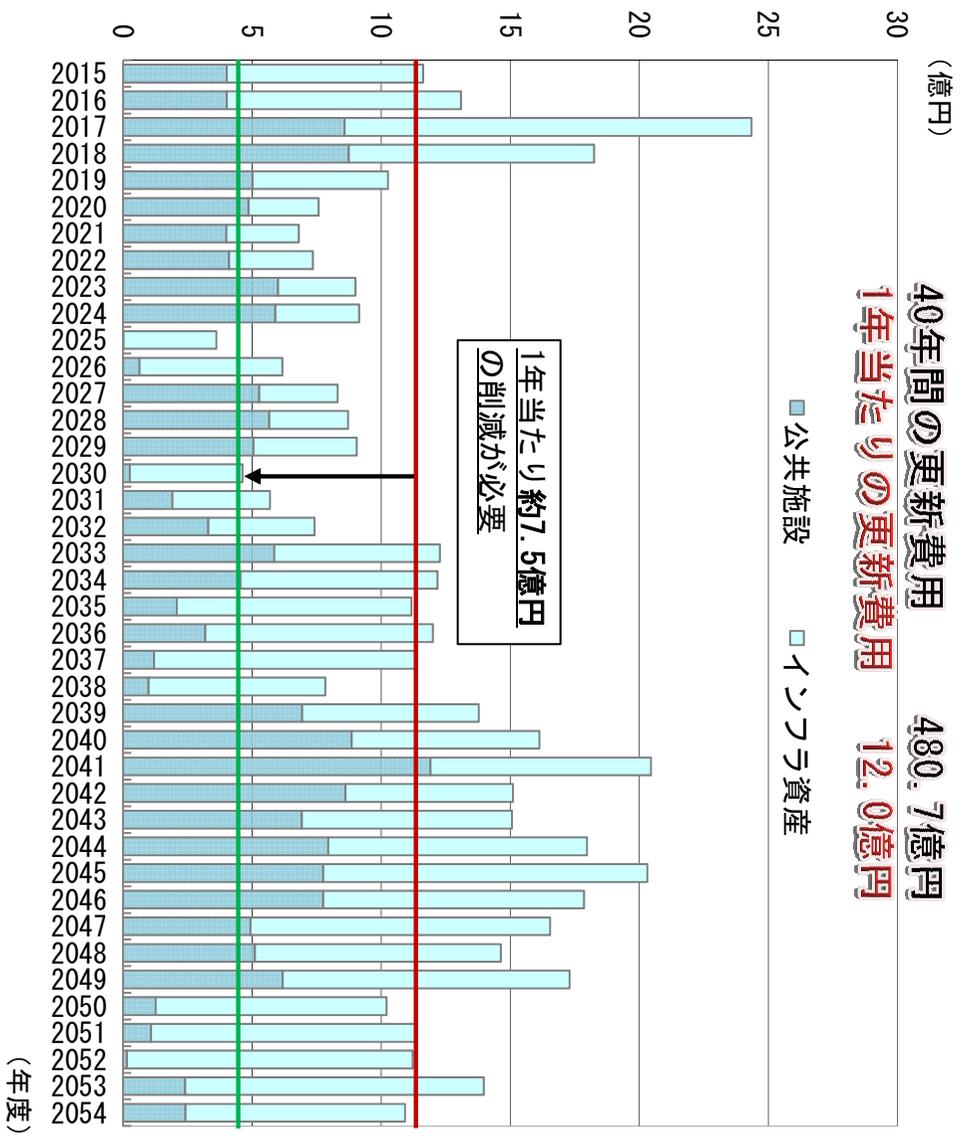
(3) 公共施設等の将来の更新費用

人口減少に伴う税収減や扶助費などの増加に伴い、今後、投資的経費として充てられる財源は減少すると考えられます。一方で、公共施設等は老朽化による大量の施設更新が必要となります。

本町における公共施設とインフラ資産を合わせた今後40年間における更新費用は約480.7億円、1年当たりの更新費用額は約12.0億円となっています。

本町の決算統計に基づく平成22年から平成26年までの投資的経費の平均から求めた1年当たりの投資的経費(約4.5億円)と1年当たりの更新費用を比較すると、1年当たり約7.5億円の更新費用、すなわち40年間で約300億円が不足しています。

区分	今後40年間における更新費用	1年当たりの更新費用額
公共施設	185.3億円	4.6億円
インフラ資産	295.4億円	7.4億円
計	480.7億円	12.0億円



第2章 公共施設等に関する基本方針

前述した公共施設等の抱える課題だけでなく、町民ニーズを考慮した適正な公共サービスを提供していくため、以下の2つの基本理念を設定します。また、基本理念を踏まえて、以下の7つの方針を定めます。

◆基本理念 町民との協働による計画の推進

- ・本町の公共施設等を取りまく状況についての認識を行政だけでなく、町民とも共有し、理解を深めることを目的に町民アンケートを実施し、その結果を本計画の公共施設及びインフラ資産の基本方針にフィードバックすることで町民ニーズを踏まえたものとしします。
- ・公共施設等の抱える課題を町全体で共有するために、町民への情報提供を積極的に実施します。

1. 点検・診断等の実施方針

- ・公共施設等の管理状況を踏まえ、専門的な知識を有する技術者が、安全性や老朽化の状況等を把握・整理し、施設への影響を図るため定期的な点検・診断等を行います。
- ・点検・診断等を行う施設管理者の技術力確保や、点検・診断結果を生かした中・長期的な計画の作成によるメンテナンスサイクルの構築等に取り組んでいきます。

2. 維持管理・修繕・更新等の実施方針

- ・長寿命化を図り、公共施設等を長期的かつ安全に活用し、また、財政負担の集中を避けるため、修繕・更新等に対しては事後保全型の対策ではなく、予防保全型の維持管理を計画的に行います。
- ・大規模改修や建替え等の実施に当たっては、緊急性や重要性を検討し、優先順位を定め、実施時期の調整を行うことにより財政負担の平準化を図ります。

3. 安全確保の実施方針

- ・点検・診断等により危険度が認められた施設は、立入禁止や利用休止など必要な安全措置を講じた上で、継続的な利用が必要と判断されたものは、緊急性や重要性を勘案して、必要な改修工事等を実施し、安全確保を図ります。
- ・老朽化や利用面の理由により供用廃止した施設のうち、転用や売却が困難な公共施設等は、将来的に維持管理費は継続的に必要となるため、原則として解体・撤去するものとし、町民の安全確保とともに、町の財政負担の縮減に努めます。

4. 耐震化の実施方針

- ・公共施設については、「川辺町耐震改修促進計画（平成19年4月策定、平成24年3月改定）」に基づき、防災拠点として重要な役割を果たす庁舎等の施設及び災害時に避難救援等で重要な役割を果たす学校等の施設を最優先とするなど、優先順位をつけつつ、耐震診断や耐震改修工事を計画的に実施します。
- ・被災時にも業務を継続的に行うために、BCP（事業継続計画）を策定し、災害拠点施設等の機能を災害時にも継続可能なように努めます。
- ・インフラ施設については、災害時の救援活動や緊急輸送道路ネットワーク等、計画的に耐震性を確保していきます。

5. 長寿命化の実施方針

- ・長期的な利用を想定する施設については、目標耐用年数までの利用が可能なように、予防保全型の維持管理に努め、効果的・計画的な保全を実施することで、施設の長寿命化を図り、また、ライフサイクルコストの縮減に努めます。
- ・施設類型に応じた長寿命化計画を策定し、メンテナンスサイクルの実行や体制の構築等により、適切に運用し、トータルコストを縮減・平準化します。

6. 統合や廃止の推進方針

- ・将来にわたり利用の減少等が見込まれる施設については、施設の老朽化状況や利用者ニーズを勘案し、用途変更や集約化、複合化等に努めるなど、施設の適正配置を図り、維持管理等に係る財政負担の軽減を図ります。
- ・統廃合等により不要と判断した施設については、施設を廃止・売却等を積極的に検討し、保有する施設の総量の削減に努めます。
- ・統廃合の際には、民間施設の代替利用など、民間活力の導入も積極的に検討します。

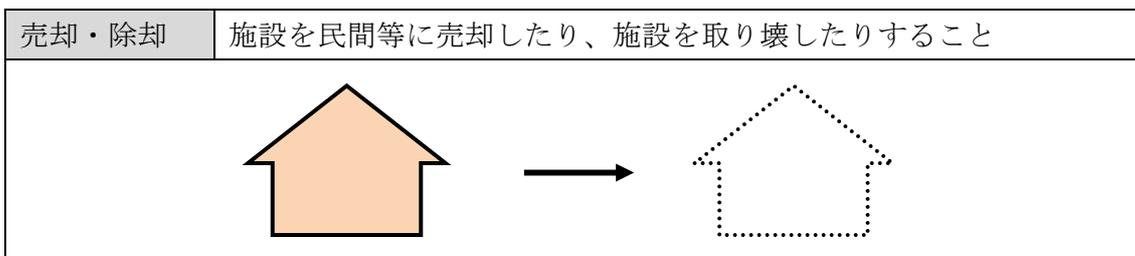
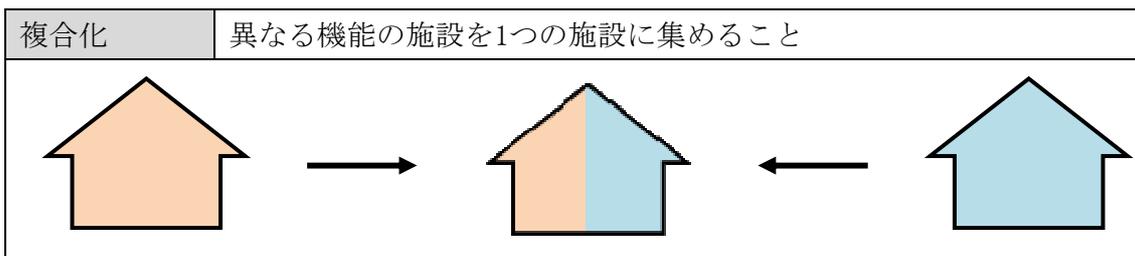
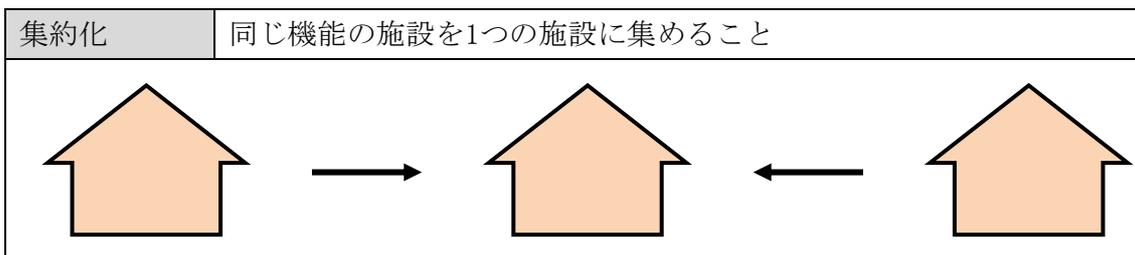
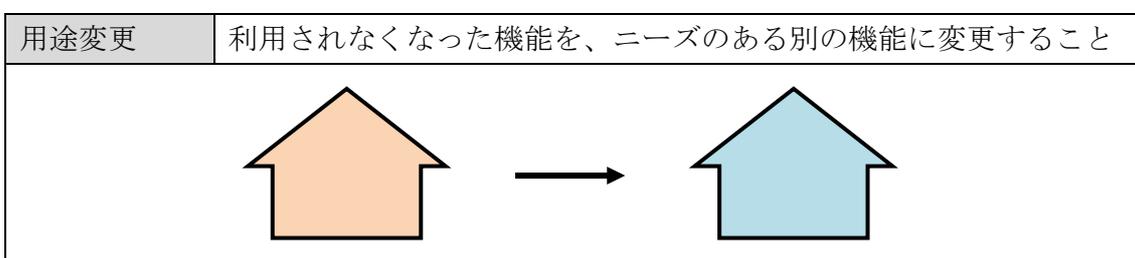
7. 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

- ・本計画の趣旨を職員が理解し、コスト意識を持って公共施設等の維持管理に取り組む必要があることから、専門家による職員対象の研修等を実施するなど、職員の技術力向上に必要な取組みを積極的に行います。
- ・各部署の管轄にとらわれず、全庁的な体制を構築し、連携を図りながら一元的に計画の推進に取り組みます。
- ・施設の維持管理・更新等を取り巻く課題には本町単体だけでなく、他の地方公共団体や民間事業者等、多方面との連携を深めながら取組みの実効性を高め、本計画の推進を図ります。

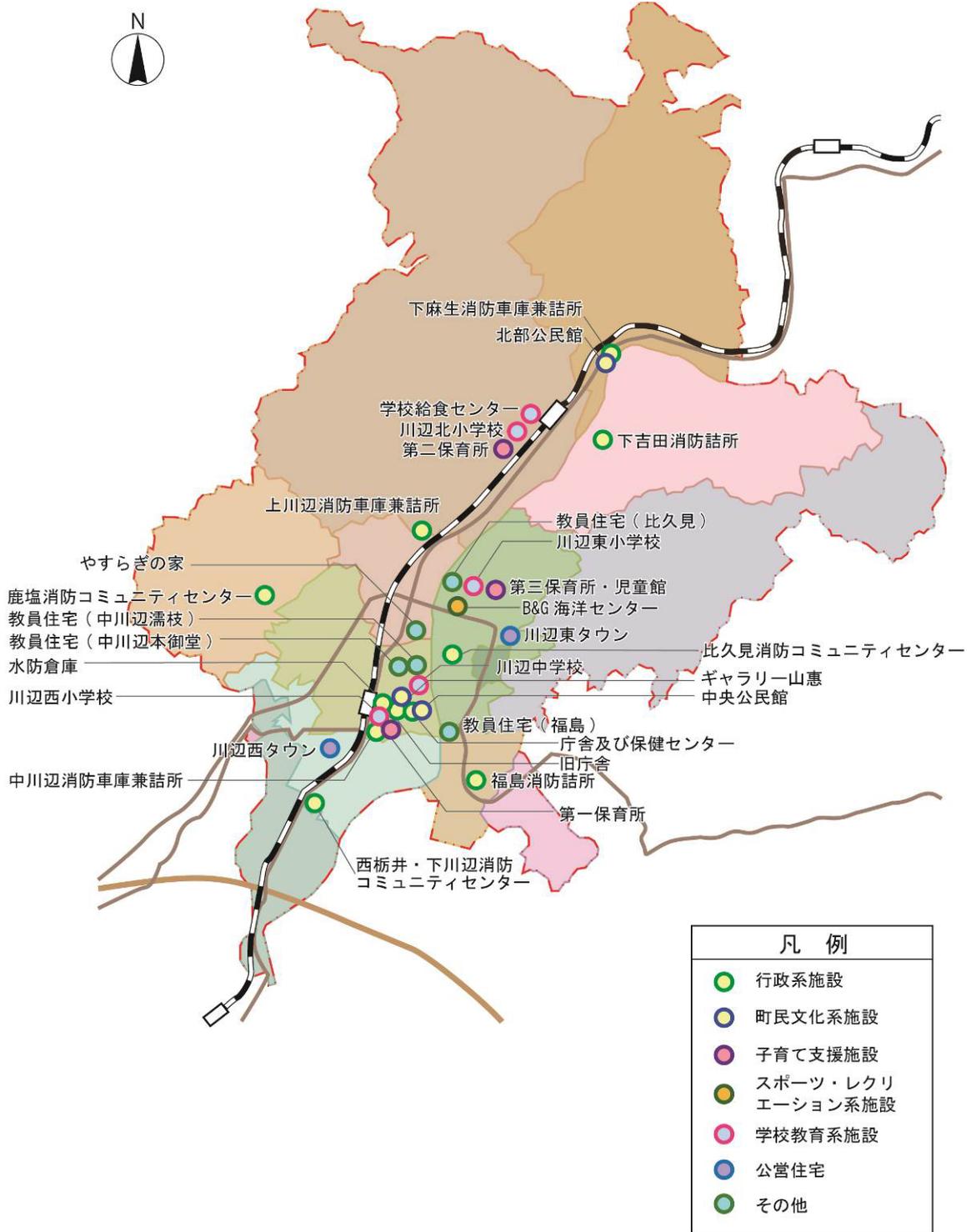
第3章 公共施設等の施設類型ごとの管理に関する基本方針

◆公共施設等の再編に向けた基本的な考え方

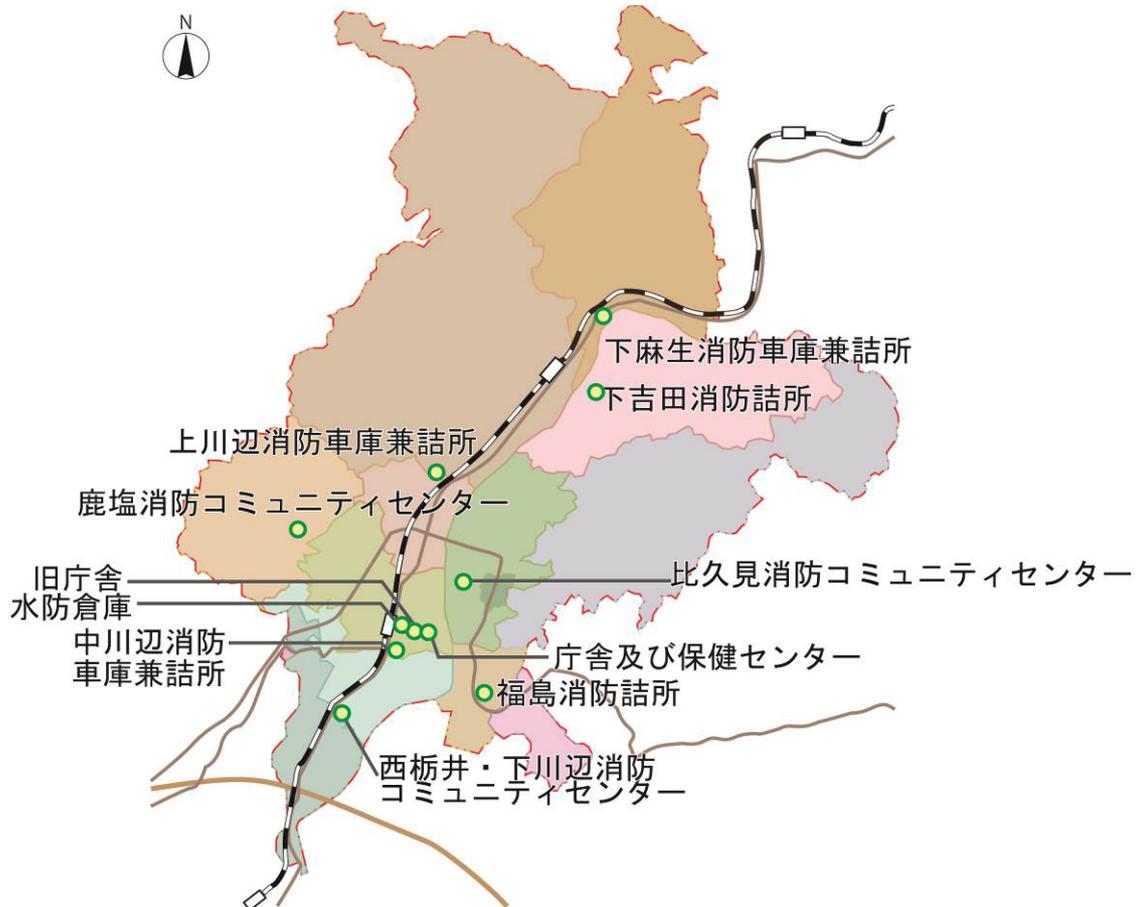
将来想定される公共施設等の更新費用を踏まえ、健全な財政運営を維持していくためには、公共施設等の改修や更新に係る費用を削減する必要があります。そこで、公共施設のサービスの質を維持・向上しつつ、費用削減に結び付けるためには、施設の老朽化状況・利用状況だけでなく、社会情勢や利用者ニーズを考慮しつつ、本町の保有する公共施設の床面積を削減していくことが重要になります。



◆本町における公共施設位置図



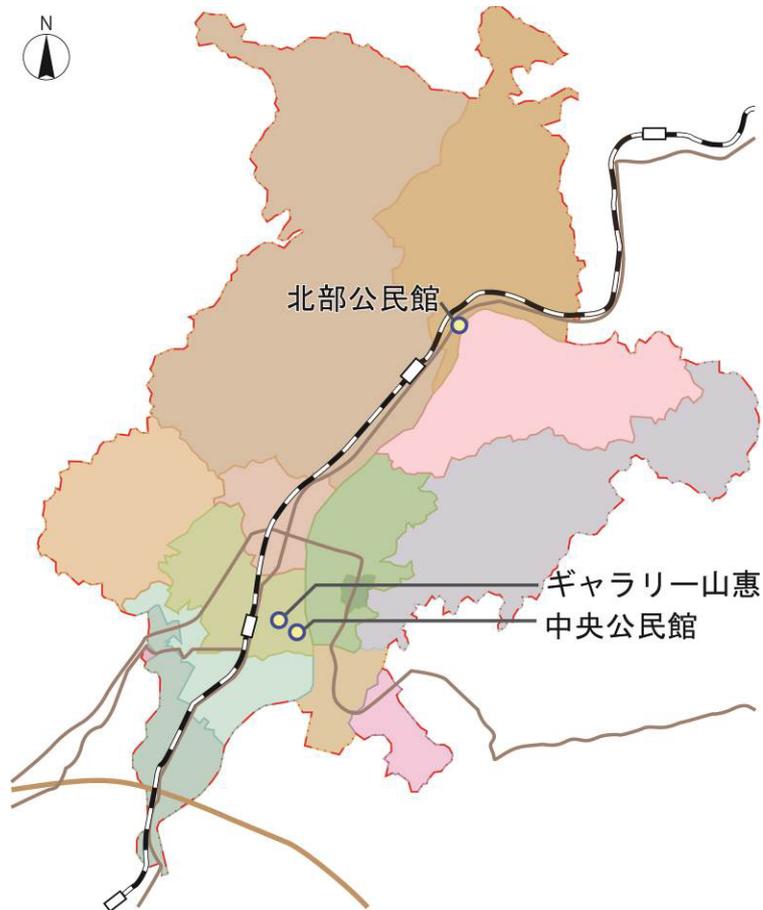
1. 行政系施設



施設名		地区	主建設年	経過年数	延床面積
①	庁舎及び保健センター	中川辺	1987年	28年	3,409㎡
②	旧庁舎	中川辺	1978年	37年	530㎡
③	上川辺消防車庫兼詰所	上川辺	1984年	31年	69㎡
④	下麻生消防車庫兼詰所	下麻生	1987年	28年	75㎡
⑤	中川辺消防車庫兼詰所	中川辺	1988年	27年	71㎡
⑥	福島消防詰所	福島	1989年	26年	81㎡
⑦	下吉田消防詰所	下吉田	1997年	18年	69㎡
⑧	水防倉庫	中川辺	1969年	46年	107㎡
⑨	西栃井・下川辺消防コミュニティセンター	西栃井	2003年	12年	79㎡
⑩	鹿塩消防コミュニティセンター	鹿塩	2001年	14年	61㎡
⑪	比久見消防コミュニティセンター	比久見	2004年	11年	79㎡
40年間の更新費用・・・2,894.3百万円			1年あたりの更新費用・・・72.4百万円		

方針	<ul style="list-style-type: none">・庁舎については、町の重要な拠点であるため、予防保全の考え方を踏まえて、計画的に施設の長寿命化を図るとともに、効率的・効果的な維持管理・運営に努めます。・旧庁舎については、旧耐震基準の建物であり、老朽化も進んでいるため、改修・建替時に積極的に統廃合等を検討します。・消防詰所・倉庫については、防災上必要な整備であるため、予防保全の考え方を踏まえて施設の長期的な維持管理を行います。面積の小さい施設であるため、可能であれば他施設との統廃合等を検討します。
----	--

2. 町民文化系施設



	施設名	地区	主建設年	経過年数	延床面積
①	ギャラリー山恵	中川辺	2013年	2年	168㎡
②	中央公民館	中川辺	1981年	34年	3,361㎡
③	北部公民館	下麻生	2003年	12年	521㎡
40年間の更新費用・・・2,058.5百万円			1年あたりの更新費用・・・51.5百万円		

方針	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズを踏まえ、用途変更等も視野に入れつつ、老朽化して改修・建替時等を行う際には積極的に統廃合等を検討します。また、民間活力の導入も積極的に検討します。
----	--

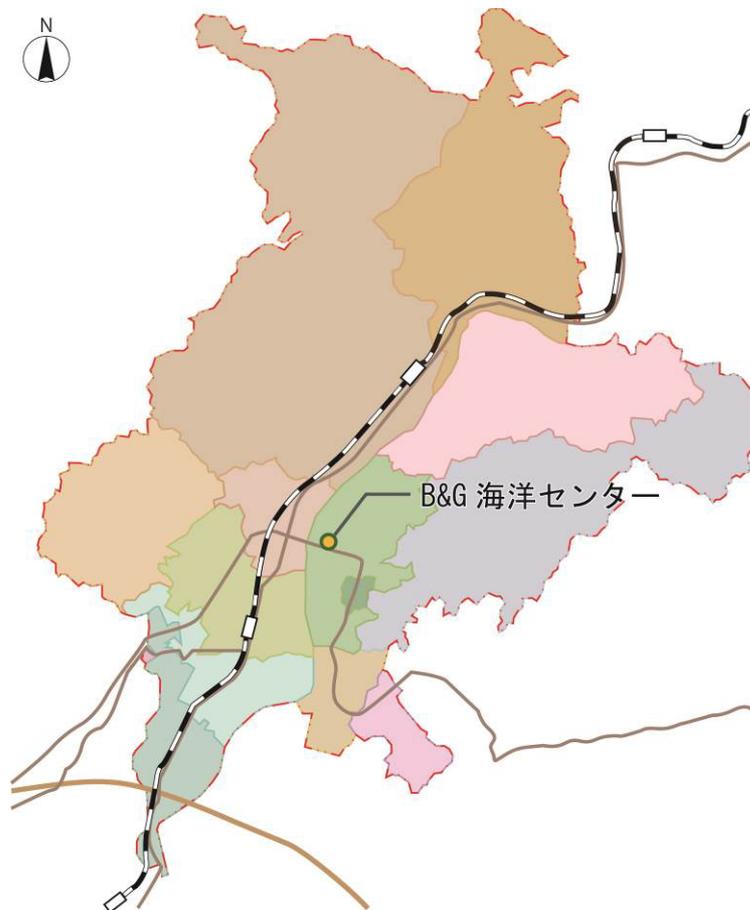
3. 子育て支援施設



施設名		地区	主建設年	経過年数	延床面積
①	第一保育所	中川辺	1989年	26年	811㎡
②	第二保育所	上川辺	1996年	19年	740㎡
③	第三保育所・児童館	比久見	2003年	12年	2,312㎡
40年間の更新費用・・・924.3百万円			1年あたりの更新費用・・・23.1百万円		

方針	<ul style="list-style-type: none"> ・予防保全の考え方を踏まえて、計画的に施設の長寿命化を図るとともに、効率的・効果的な維持管理・運営に努めます。 ・サービスが不足する場合には、他施設の未利用スペースの活用や民間施設での代用等を積極的に検討します。
----	---

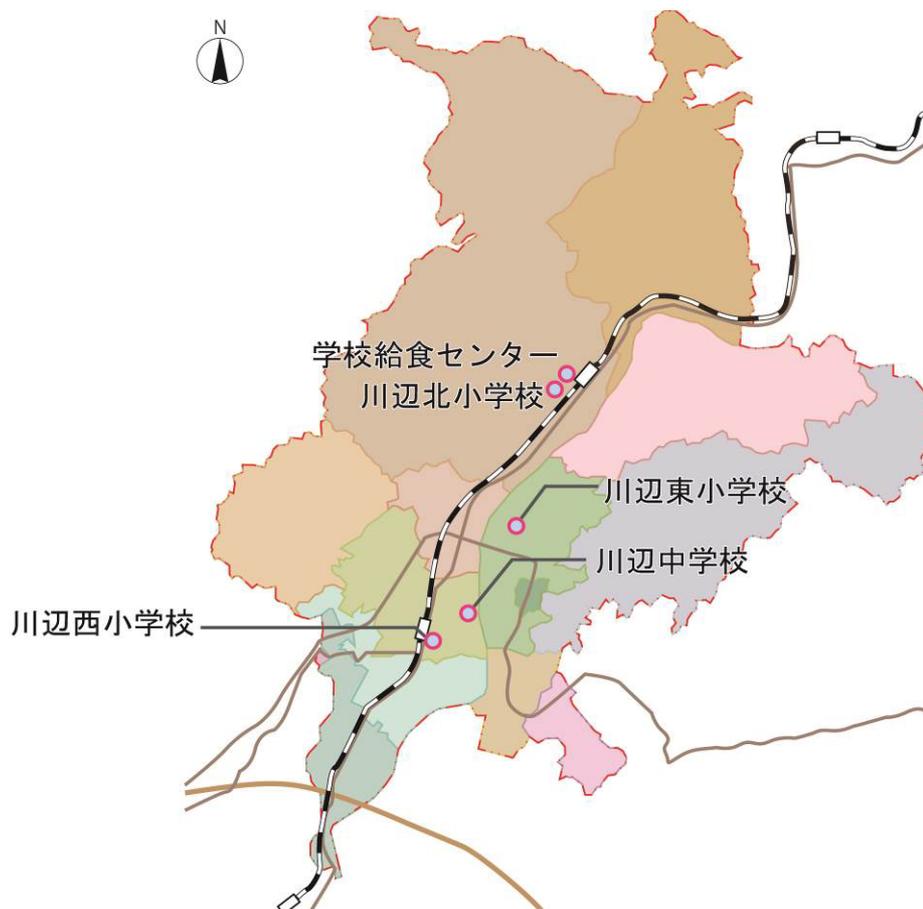
4. スポーツ・レクリエーション系施設



施設名	地区	主建設年	経過年数	延床面積
① B&G海洋センター	比久見	1984年	31年	1,936㎡
40年間の更新費用・・・1,084.2百万円		1年あたりの更新費用・・・27.1百万円		

方針	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズを踏まえ、用途変更等も視野に入れつつ、老朽化して改修・建替時等を行う際には積極的に統廃合等を検討します。また、民間活力の導入を積極的に検討します。
----	--

5. 学校教育系施設



施設名		地区	主建設年	経過年数	延床面積
①	川辺西小学校	中川辺	1967年	48年	4,904㎡
②	川辺北小学校	上川辺	1979年	36年	3,982㎡
③	川辺東小学校	比久見	1981年	34年	3,584㎡
④	川辺中学校	中川辺	1984年	31年	7,309㎡
⑤	学校給食センター	上川辺	1997年	18年	817㎡
40年間の更新費用・・・8,836.2百万円			1年あたりの更新費用・・・220.9百万円		

方針	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設整備計画に基づき、計画的・効果的な維持管理・運営について検討します。 ・学校は町の保有面積の大部分を占めるため、児童・生徒数の推移等を考慮し、他施設との統廃合等も視野に入れて検討します。
----	---

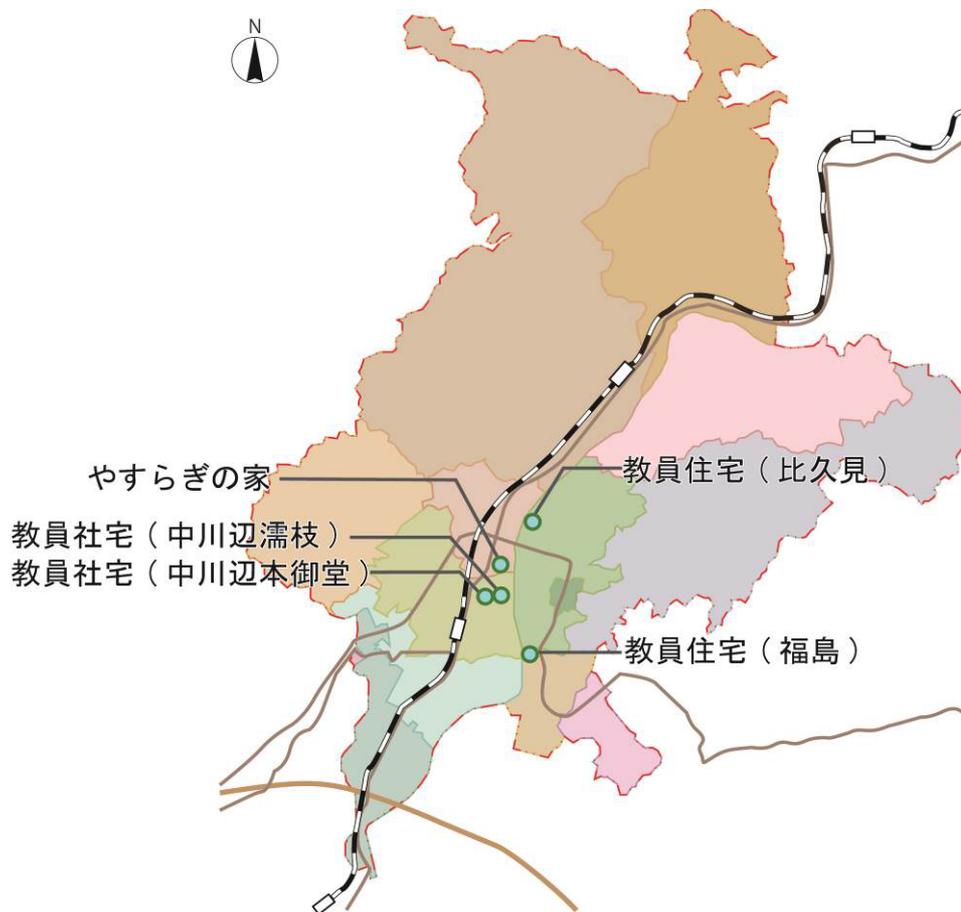
6. 公営住宅



施設名		地区	主建設年	経過年数	延床面積
①	川辺西タウン	西栃井	2001年	14年	5,617㎡
②	川辺東タウン	比久見	2009年	6年	3,479㎡
40年間の更新費用・・・1,546.3百万円			1年あたりの更新費用・・・38.7百万円		

方針	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の意向を踏まえつつ、老朽化して改修・建替等を行う際には積極的に統廃合等を検討します。 ・サービスが不足する場合には、民間施設での代用等を積極的に検討します。
----	---

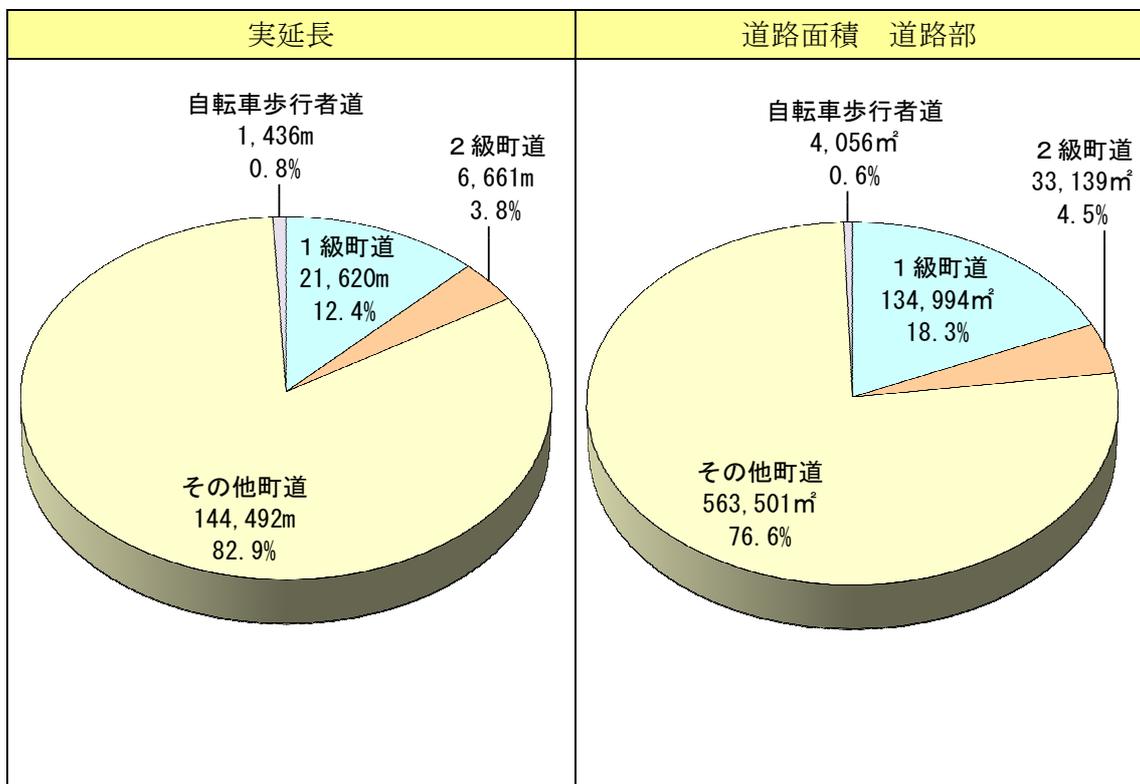
7. その他



施設名		地区	主建設年	経過年数	延床面積
①	やすらぎの家	石神	1993年	22年	1,777㎡
②	教員住宅（福島）	福島	1976年	39年	222㎡
③	教員住宅（比久見）	比久見	1981年	34年	194㎡
④	教員住宅（中川辺本御堂）	中川辺	1987年	28年	195㎡
⑤	教員住宅（中川辺濡枝）	中川辺	1992年	23年	108㎡
40年間の更新費用・・・1,184.5百万円			1年あたりの更新費用・・・29.6百万円		

方針	<ul style="list-style-type: none"> ・やすらぎの家は町唯一の福祉施設であるため、予防保全の考え方を踏まえて、計画的に施設の長寿命化を図ります。また、貸室部分については利用者ニーズを踏まえ、用途変更や統廃合等を積極的に検討します。また、民間活力の導入も積極的に検討します。 ・教員住宅は入居者の意向を踏まえつつ、老朽化して改修・建替等を行う際には統廃合等を検討します。また、サービスが不足する場合には、民間施設での代用等を積極的に検討します。
----	---

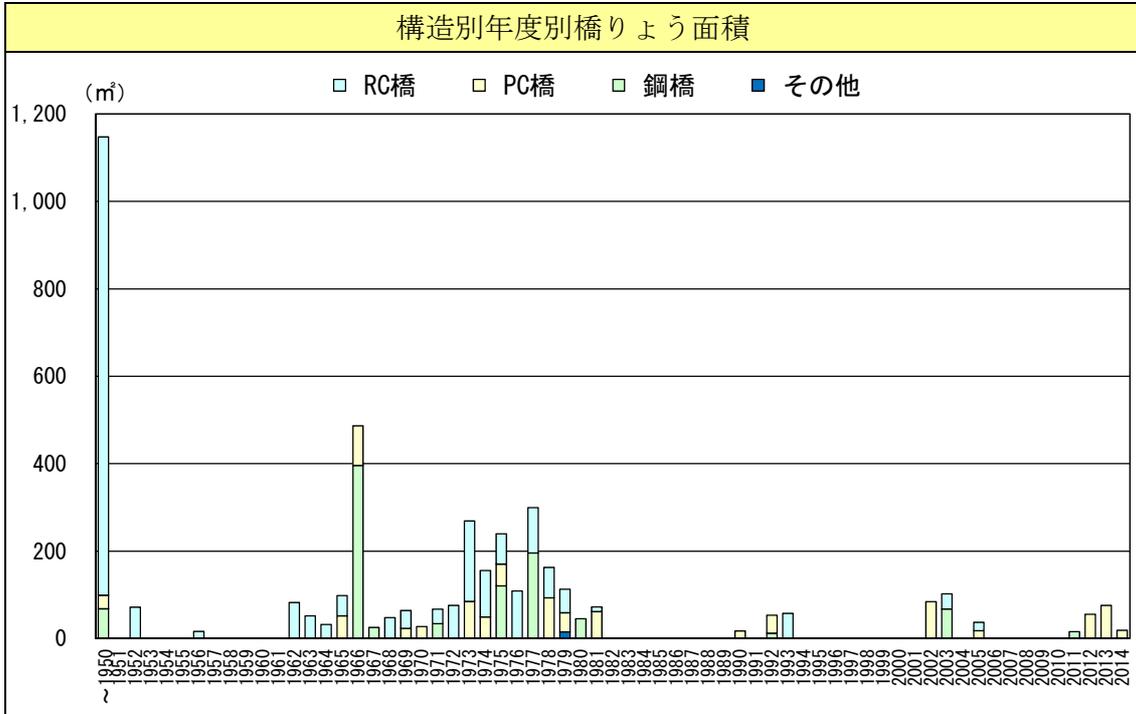
8. 道路



区分	延長	道路面積
1級町道	21,620m	134,994㎡
2級町道	6,661m	33,139㎡
その他町道	144,492m	563,501㎡
自転車歩行者道	1,436m	4,056㎡

方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予防保全の考えのもと、道路長寿命化計画を策定し、計画的・効率的な管理を行い、財政負担の平準化を図ります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修繕については、日常点検での老朽化状況や利用状況、財政状況を踏まえつつ、優先順位を定めて実施することで、維持管理費の低減に努めます。

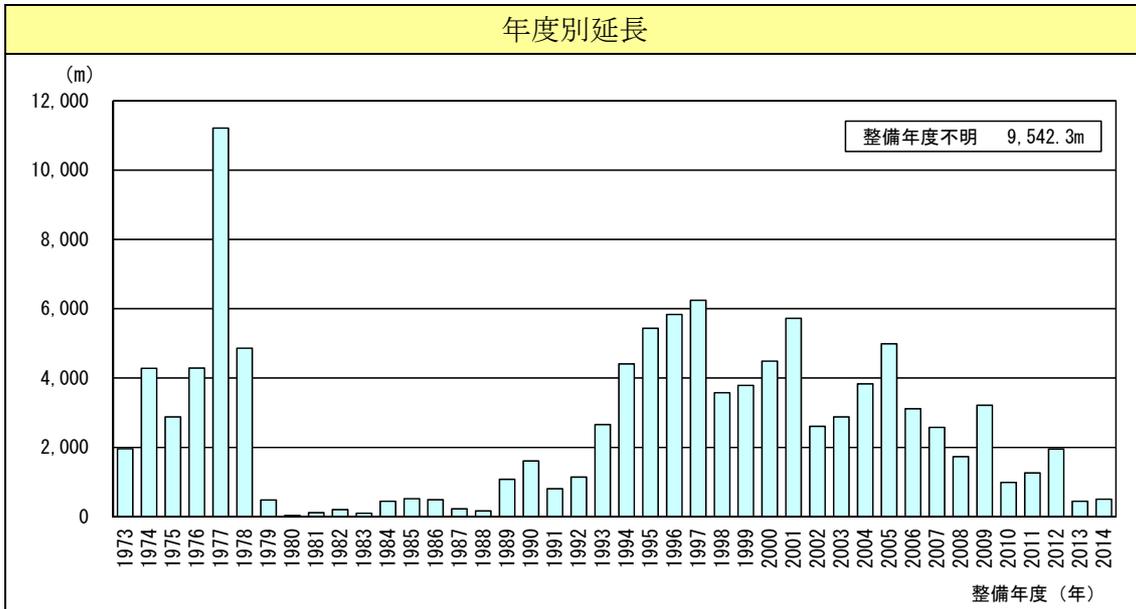
9. 橋りょう



区分		数量
橋りょう数	15m未満	106橋
	15m以上	9橋
橋りょう面積	PC橋	918m ²
	RC橋	2,364m ²
	鋼橋	981m ²
	その他	15m ²

方針	<ul style="list-style-type: none"> 川辺町橋梁長寿命化修繕計画に基づき、効率的・効果的な維持管理運営に努めます。 修繕については、日常点検等により、優先度を定めて実施することで、維持管理費の低減に努めます。
----	--

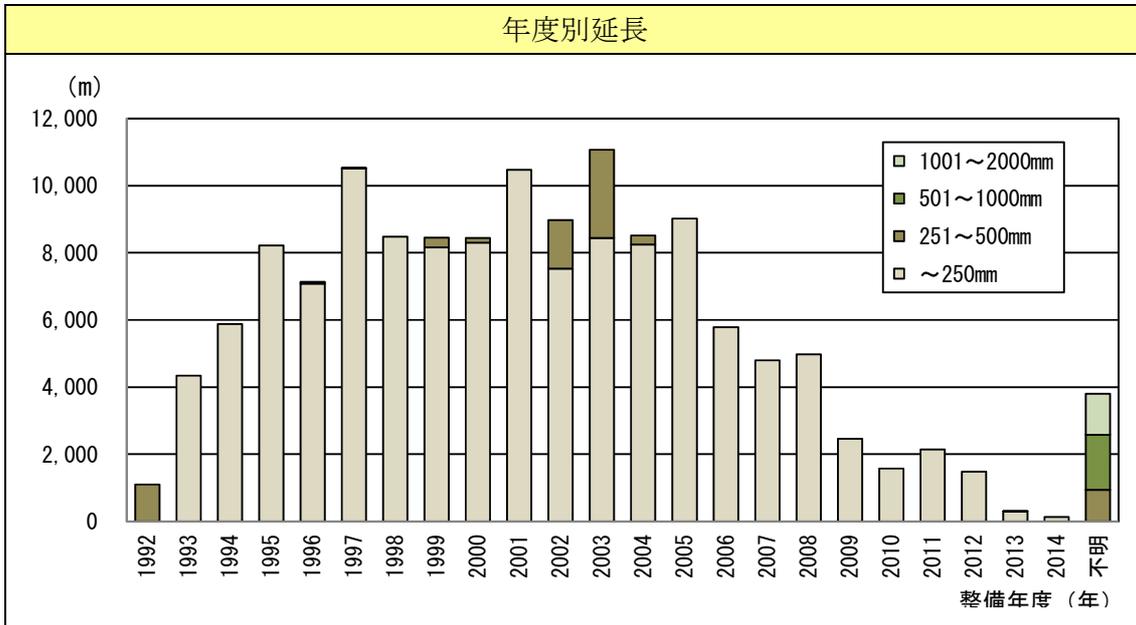
10. 上水道



区分		管延長			
実延長		118,721m			
配水管内訳	管径50mm以下	管径51mm以上75mm以下	管径76mm以上100mm以下	管径101mm以上125mm以下	管径126mm以上150mm以下
	50,316m	30,365m	19,460m	-	9,217m
	管径151mm以上200mm以下	管径201mm以上250mm以下	管径251mm以上300mm以下	管径301mm以上350mm以下	管径351mm以上400mm以下
	5,820m	2,958m	181m	-	360m
	管径不明	44.3m			
上水道普及率 97%					
上水道施設等 山楠配水場管理棟 (延床面積: 259㎡) 加圧ポンプ所: 7箇所					

方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予防保全の考えのもと、上水道長寿命化計画を策定し、計画的・効率的な管理を行い、財政負担の平準化を図ります。 ・ 上水道管については、日常点検等を通して優先順位を定め、計画的に耐震管への更新を行い、災害時の上水道機能の確保に努めます。 ・ 上水道施設については、予防保全の考え方を踏まえて、計画的に施設の長寿命化を図るとともに、効率的・効果的な維持管理・運営に努めます。 ・ 受益者負担の考え方にに基づき、上水道料金の見直しを行い、維持管理費の効果的な縮減に努めます。
----	--

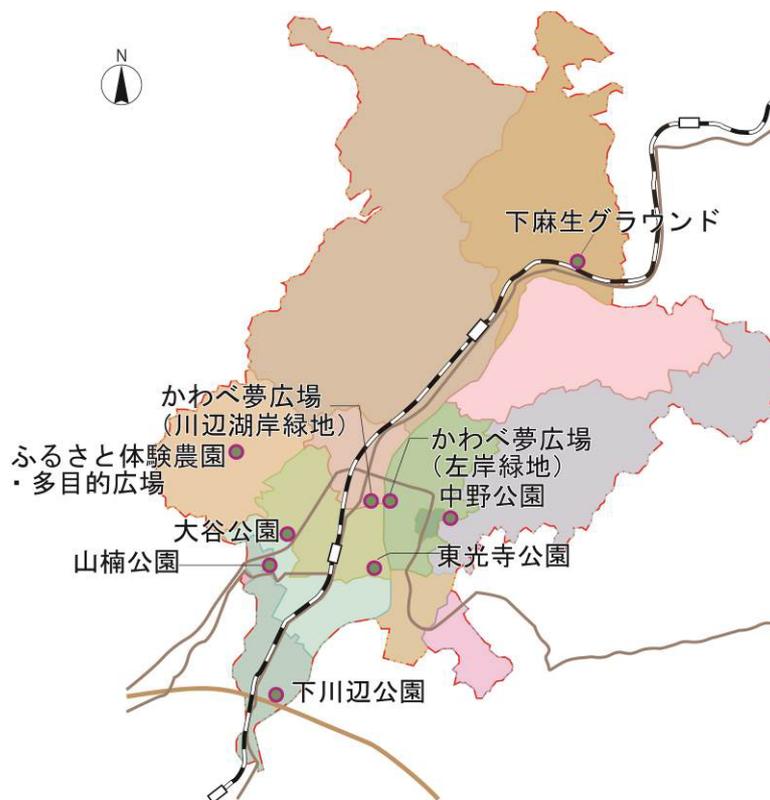
1.1. 下水道



区分		数量
総量		138,034m
内訳	管径 ~250mm	128,299m
	管径 251~500mm	6,873m
	管径 501~1,000mm	1,644m
	管径 1,001~2,000mm	1,217m
下水道接続率		79%
下水道施設等 かしおクリーンセンター (延床面積: 140㎡) マンホールポンプ: 42箇所		

方針	・ 予防保全の考えのもと、下水道長寿命化計画を策定し、計画的・効率的な管理を行い、財政負担の平準化を図ります。
	・ 下水道管の修繕については、日常点検での老朽化状況や利用状況、財政状況を踏まえつつ、優先順位を定めて実施することで、維持管理費の低減に努めます。
	・ 受益者負担の考え方にに基づき、下水道料金の見直しを行い、維持管理費の効果的な縮減に努めます。

12. 公園



施設名		面積	供用開始年
①	大谷公園	5,000㎡	1989年
②	中野公園	308㎡	2000年
③	東光寺公園	2,100㎡	1994年
④	山楠公園	86,000㎡	1980年
⑤	かわべ夢広場 (左岸緑地)	17,000㎡	2006年
⑥	かわべ夢広場 (川辺湖岸緑地)	6,716㎡	1999年
⑦	下川辺公園	1,730㎡	2005年
⑧	ふるさと体験農園・多目的広場	2,500㎡・1,379㎡	2000年
⑨	下麻生グラウンド	7,444㎡	不明
40年間の更新費用・・・3.7百万円		1年あたりの更新費用・・・0.1百万円	

※ここで挙げる更新費用は、公園に付随する施設の大規模改修・建替えの費用です。

方針	<ul style="list-style-type: none"> 公園長寿命化計画を策定し、老朽化状況や町民ニーズ等を踏まえつつ、効率的、計画的な維持管理・運営に努めます。 収益事業を積極的に行い、維持管理・運営費の縮減に努めます。また、必要性の低い公園については廃止等も視野に入れます。
----	--

第4章 フォローアップの方針等

1. 公共施設等総合管理計画の推進

本計画を効果的に推進するためには、各部署の管轄にとらわれることのない、部署横断的な全庁的な推進体制を構築し、都度計画の推進状況の確認を行うとともに、必要に応じて内容の見直しを行います。

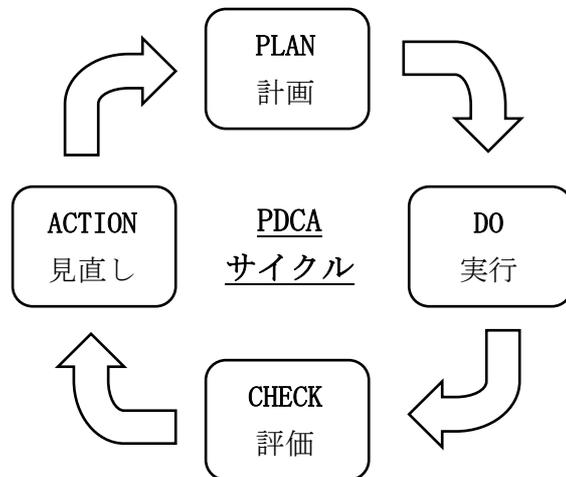
また、公共施設等の情報については適切な形で蓄積し、有効活用できるようにすることが重要であるため、データベース化を行い、情報の蓄積・統合・共有に努めます。

2. 町民への情報提供

公共施設等の課題は、行政だけでなく町民に直結する内容であることから、多くの町民と行政が問題意識を共有するために、広報誌やホームページ等による計画内容の情報発信のほか、公共施設等の情報のオープンデータ化に取り組むなど、情報の積極的な開示・共有化に努めます。

3. 計画推進のマネジメント

将来、人口構造や社会情勢等が変化することも想定されることから、客観的に取り組み状況を検証し、必要な公共施設サービスを適正に維持するために、PDCAサイクル評価により、定期的に必要の見直しを行い、内容の充実を図ります。



保全計画 編

目 次

保全計画編

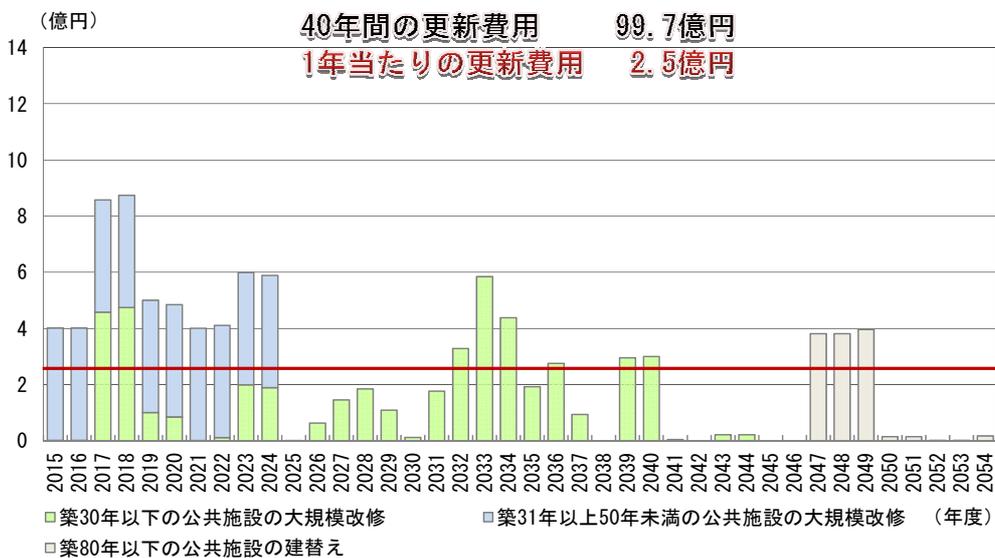
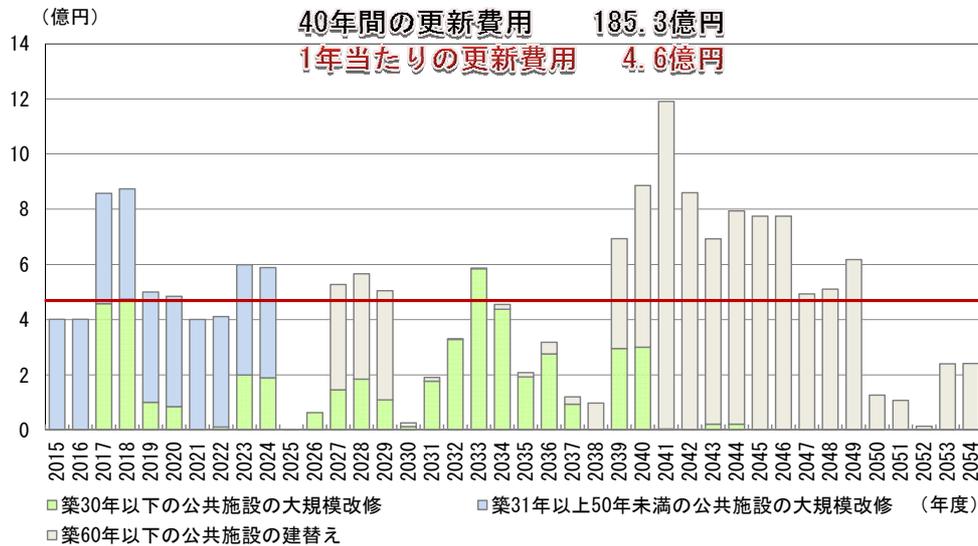
保全計画の検討	1
1. 長寿命化によるシミュレーション	1
2. 平準化等によるシミュレーション	2
3. 今後の対応策の検討	3
4. 施設長寿命化設計方針	4

保全計画の検討

1. 長寿命化によるシミュレーション

公共施設を対象に、長寿命化を図り、耐用年数を延長した場合の更新費用を試算するシミュレーションを検討します。

耐用年数は、長寿命化を図ることで60年から80年へ延長した場合（大規模改修は30年のまま）の将来の更新費用をみると、40年間では85.6億円の削減となり、1年当たりでみると2.1億円の削減となります。ただし、前述のとおり、インフラ資産を含めると、適正な財政水準を目指すには1年当たり5.1億円の削減が必要であるため、長寿命化による削減額のみでは不足することから、統廃合等による保有面積削減が必要となります。



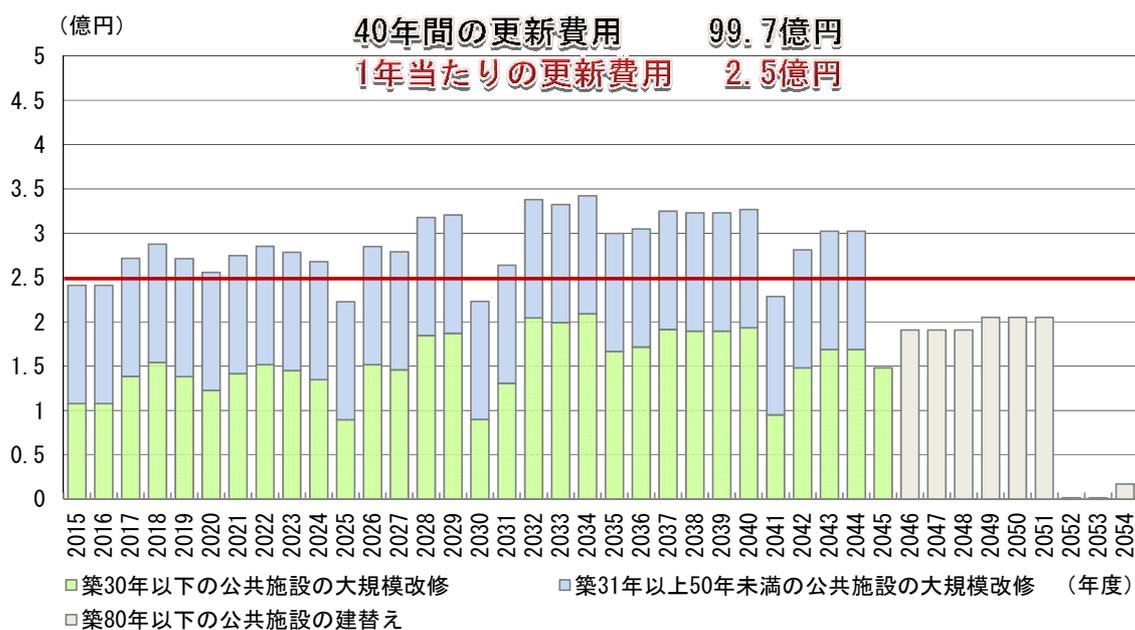
2. 平準化等によるシミュレーション

前述の長寿命化シミュレーションの結果を受けて、毎年度の財政負担をできる限り均等にするために、突出した年度を平準化したシミュレーションを検討します。

以下の基本的な考え方に従い平準化シミュレーションを行うと、おおよそ1年当たり3億円未満での平準化が可能となります。

平準化の基本的な考え方

- ① 既に大規模改修時期を迎えている施設の改修費用を長期に平準化する
- ② 延床面積の多い大規模な施設については、大規模改修及び建替えに係る費用を平準化する期間を長期化する
- ③ 単年度に複数施設の大規模改修及び建替え重なる場合は、その時期にかかる費用の少ない年度にずらす



3. 今後の対応策の検討

本計画を実施する際には、公共施設等の予防保全型の維持管理に努め、以下の効果的・効率的な整備手法や工事発注方法、将来に向けた公共施設の保全の在り方について積極的に検討します。

①効果的・効率的な整備手法や工事発注方法

PPPやPFIなどの公民連携の考え方を積極的に導入して、民間のノウハウや資金を活用し、本町の財政負担を減らすとともに、町民に提供する公共サービスの質の向上を目指します。

②保全の在り方

本町が保有している公共施設等の保全は、点検、機器の運転・保守、清掃など様々であり、統一的な保全マニュアルを作成することは困難であるため、各公共施設等において長寿命化・平準化シミュレーションの結果等を踏まえ、個別計画を策定し、また、公共施設等総合管理計画との調整を図りながら、職員が安定した質で包括的に公共施設等の保全が実施できるように努めます。

4. 施設長寿命化設計方針

町の保有する公共施設の設計に関する基本事項を定め、施設の長寿命化を効率的・効果的に推進することを目的とし、以下に方針を定めます。

①可変性

建築物を長寿命化するには、時代の変化や町民ニーズの変化に対応した用途変更等が必要になる場合があります。そのため、将来の機能向上や用途変更に対応できるようにするため、階高、設計荷重、設備スペース等にゆとりを持たせるなどの可変性について留意して検討します。

②更新性

建築物は耐用年数が異なる多数の部材から成り立っており、物理的機能的劣化の速度が異なります。そのため、改修工事の際には、耐用年数に達しない部材も撤去するなどの道連れ工事を抑制し、対象となる部材のみを効率的に更新するための対策等、更新性について留意して検討します。

③高耐久性

構造躯体の耐久性だけでなく、各部材についてもライフサイクルコストを考慮しつつ、躯体、仕上げ、設備の各々における高耐久性について留意して検討します。

④メンテナンスビリティ（維持管理のしやすさ）

建築物を長寿命化するには日常的な清掃や点検や劣化診断を行い、的確に修繕を実施することが重要になります。これらの維持管理業務を円滑に実施できるようにメンテナンスビリティについて留意して検討します。

⑤省エネルギー・省資源等

建築物のライフサイクルコストのうちエネルギーコストが大きな比重をしめており、コスト面からもその削減対策が求められます。加えて、環境負荷の低減を図るため、新エネルギーの活用など、省エネルギー・省資源について留意して検討します。

參考資料 編

目 次

参考資料

アンケート調査関連	1
1. アンケート調査の概要	1
2. アンケート調査票	2
3. アンケート結果	9

アンケート調査関連

1. アンケート調査の実施概要

(1) アンケート調査の目的

本町の公共施設等を取りまく状況を町民と共有し、公共施設等総合管理計画に基づく効果的・計画的な公共施設等の維持管理に向けた町民の理解を深めることを目的とします。

(2) アンケート調査の概要

調査地域	川辺町全域
調査対象	町内在住の成人
調査期間	平成28年1月25日～平成28年2月5日
調査方法	郵送により対象者に調査票と返信用封筒を送付し、回答記入後、調査票を返送してもらう方法で実施
アンケート配布数	1,500人（無作為抽出）
アンケート回収数	868人
回収率	57.9%

2. アンケート調査票

川辺町公共施設に関するアンケート調査

◆アンケートご協力をお願い◆

町民の皆さまには、日ごろから町政各般にわたりご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、皆さんは、「公共施設」といえばどのような施設を思い浮かべるでしょうか？

町がサービスを提供している公共施設は、役場庁舎や中央公民館などのいわゆる「ハコモノ」のほかに、道路・橋梁・上下水道などの「インフラ」もあります。しかし、これらの公共施設は老朽化が進んでおり、様々な課題を抱えています。

川辺町では、これからの公共施設の姿を考え、町民の皆さんの大切な資産である公共施設を今後もより良い状態で維持していくために、行動すべき事を「公共施設等総合管理計画」として取りまとめることになりました。そこで、町民の皆さまからのご意見をお伺いし、計画策定の参考とさせていただきます。アンケート調査を実施いたします。

この調査の対象者は、川辺町にお住まいの20歳以上の方の中から無作為で1,500人の方を抽出しており、ご回答いただく内容はすべて統計的に処理し、個人の考えが公表されることはありません。また、その結果を調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年1月

川辺町長 佐藤光宏

◆ご回答にあたっての留意事項◆

- ご回答は、あて名のご本人がお答えください。
- 各設問について、あてはまる回答の番号を○で囲んでください。なお、設問によっては、複数回答ができる場合もございますので、設問をよくお読みいただきお答えください。また、回答が「その他」の場合は、カッコ内になるべく具体的にその内容をお答えください。
- ご記入いただきました調査票は、平成28年2月5日（金）までに同封の返信用の封筒（切手不要）に入れて投函してください。
- ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

【問合せ先】

川辺町役場総務課 佐伯、渡辺、日下部

TEL53-2511 FAX53-2374 〒509-0393 川辺町中川辺1518-4

Ⅱ. 川辺町の公共施設に対するあなたの利用状況及び満足度についてご意見をお聞かせください。

設問1. あなたが利用している町内の公共施設のうち、下記の施設についてお聞きします。「施設種別」ごとの利用頻度について、該当する選択肢の番号（1～4）から1つ選んで○をつけてください。

施設種別	利用頻度			
	1.月に数回程度	2.年に数回程度	3.ほとんど利用していない	4.今まで利用したことがない
(1) 役場庁舎（含む保健センター）	1	2	3	4
(2) 中央公民館	1	2	3	4
(3) 北部公民館	1	2	3	4
(4) 児童館	1	2	3	4
(5) やすらぎの家	1	2	3	4
(6) スポーツ施設	1	2	3	4
(7) 公園	1	2	3	4
(8) ギャラリー山恵	1	2	3	4

設問2. あなたが利用している町内の公共施設のうち、下記の施設についてお聞きします。

「施設種別」ごとの①施設数、②アクセス状況、③利用可能時間、④利用料金の満足度について、下欄【選択肢】1～3の番号から1つを選んで○をつけてください。（利用したことのある施設種別のみでの回答で構いません。）

【選択肢】	1. 満足している	2. どちらともいえない	3. 満足していない
-------	-----------	--------------	------------

施設種別	満足度			
	① 施設数	② アクセス状況	③ 利用可能時間	④ 利用料金
(1) 役場庁舎(含む保健センター)	1・2・3	1・2・3	1・2・3	1・2・3
(2) 中央公民館	1・2・3	1・2・3	1・2・3	1・2・3
(3) 北部公民館	1・2・3	1・2・3	1・2・3	1・2・3
(4) 児童館	1・2・3	1・2・3	1・2・3	1・2・3
(5) やすらぎの家	1・2・3	1・2・3	1・2・3	1・2・3
(6) スポーツ施設	1・2・3	1・2・3	1・2・3	1・2・3
(7) 公園	1・2・3	1・2・3	1・2・3	1・2・3
(8) ギャラリー山恵	1・2・3	1・2・3	1・2・3	1・2・3

問3. 川辺町の公共施設の数や規模は、他の市町村に比べて充実していると思いますか？
 (選択肢の記号から1つ選んで○をつけてください。)

1. 充実している。	2. やや充実している。
3. どちらともいえない。(わからない)	4. やや劣っている。
5. 劣っている。	

問4. 川辺町の人口は、現在、減少傾向にあり、今後もその傾向は続くと言われています。また、財政面においては、税収の伸び悩みや社会保障費の増加などにより、厳しい状況が続くことが予想されます。こうした状況などを踏まえ、公共施設の数について、考えに最も近いものを選んでください。
 (選択肢の記号から1つ選んで○をつけてください。)

1. 公共施設は足りないと思うので、今後も拡充する(増やす)ことを考えるべきである。	2. 今あるすべての公共施設は必要なものなので、工夫をしながら現状維持を優先的に考えるべきである。
3. 公共施設の必要性の見直しや複合化などにより、施設保有数の縮減を図るべきである。	4. その他()

問5. 厳しい財政状況の中で公共施設を維持するためには、経営努力を行うことはもちろんのことですが、さらなるコスト縮減や財源確保に向けた取り組みも必要です。このことについて、どのように進めていくべきだとお考えですか？(複数回答可)

1. 施設利用者の負担(使用料等)を増やす。	2. 公共施設以外の事業を見直し、その分の財源を施設の修繕・建替え費用にあてる。
3. 民間のノウハウを活用(業務委託、指定管理者制度、民営化等)し、管理運営費用を縮減する。	4. 利用状況を踏まえながら、複数の施設を集約し、維持・建替え費用を縮減する。
5. その他()	

問6. 町が将来にわたり優先的に維持すべきと考える公共施設の施設区分*を選んでください。
 (複数回答可)

1. 庁舎等 (庁舎、保健センター等)	2. 消防施設 (消防詰所、水防倉庫等)
3. 文化施設 (ギャラリー山恵)	4. 集会施設 (中央及び北部公民館)
5. 幼稚園・保育園・こども園 (保育所、児童館等)	6. その他社会福祉施設 (やすらぎの家等)
7. スポーツ施設 (B&G 海洋センター、グラウンド等)	8. 学校 (小学校、中学校)
9. その他教育施設 (学校給食センター)	10. 公営住宅 (西タウン、東タウン)
11. その他 (教員住宅)	12. 公園 (公園、広場等)

※施設区分につきましては、巻末の「川辺町の公共施設一覧と施設区分」をご確認ください。

問7. 将来的な見通しを踏まえて、今後の道路、橋、上下水道などのインフラの整備や管理運営についてはどのように進めていくべきだとお考えですか？
 (選択肢の記号から1つ選んで○をつけてください。)

1. まだ不足しており、今後も拡充すべきである。	2. 新規建設・整備は最小限とし、既存施設の現状維持を基本とすべきである。
3. その他 ()	4. わからない。
5. 無回答	

◆川辺町の公共施設一覧と施設種別

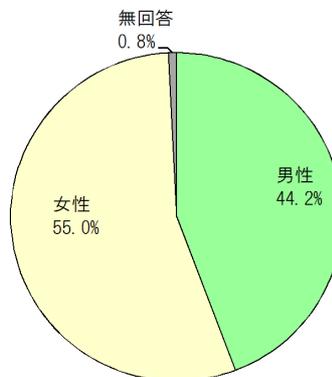
施設区分		主要建物設置施設内訳
大分類	中分類	
① 行政系施設	庁舎等	川辺町庁舎及び保健センター、旧庁舎
	消防詰所、水防倉庫	上川辺消防車庫兼詰所、下麻生消防車庫兼詰所、中川辺消防車庫兼詰所、福島消防詰所、下吉田消防詰所、水防倉庫、鹿塩消防コミュニティセンター、比久見消防コミュニティセンター、西栃井・下川辺消防コミュニティセンター
② 町民文化系施設	文化施設	川辺町ギャラリー山恵
	集会施設	川辺町中央公民館、北部公民館
③ 子育て支援施設	幼稚園・保育園・こども園	川辺町第一保育所、第二保育所、第三保育所、児童館
④ 保健・福祉施設	その他 社会福祉施設	川辺町やすらぎの家
⑤ スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	川辺町B&G海洋センター、下麻生グラウンド、山楠グラウンド
⑥ 学校教育系施設	学校	川辺西小学校、川辺北小学校、川辺東小学校、川辺中学校
	その他教育施設	川辺町学校給食センター
⑦ 公営住宅	公営住宅	川辺西タウン、川辺東タウン
⑧ その他	その他	教員住宅（福島）、教員住宅（比久見）、教員住宅（中川辺）
⑨ 公園	公園	大谷公園、中野公園、東光寺公園、山楠公園、かわべ夢広場（左岸緑地）、かわべ夢広場（川辺湖岸緑地）、下川辺公園、ふるさと体験農園・多目的広場

3. アンケート結果

I. あなた自身のことについてお聞かせください。

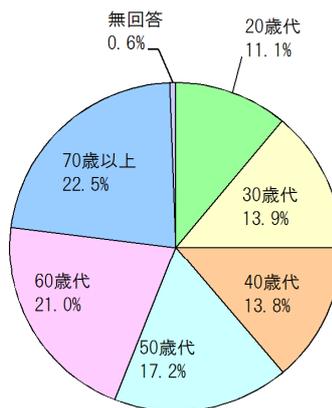
設問1: あなたの性別をお答えください。(選択肢の記号から1つ選んで○をつけてください。)

選択肢	件数	比率
1. 男性	384	44.2%
2. 女性	477	55.0%
無回答	7	0.8%
計	868	100.0%



設問2: あなたの年齢についてお答えください。(選択肢の記号から1つ選んで○をつけてください。)

選択肢	件数	比率
1. 20歳代	96	11.1%
2. 30歳代	121	13.9%
3. 40歳代	120	13.8%
4. 50歳代	149	17.2%
5. 60歳代	182	21.0%
6. 70歳以上	195	22.5%
無回答	5	0.6%
計	868	100.0%

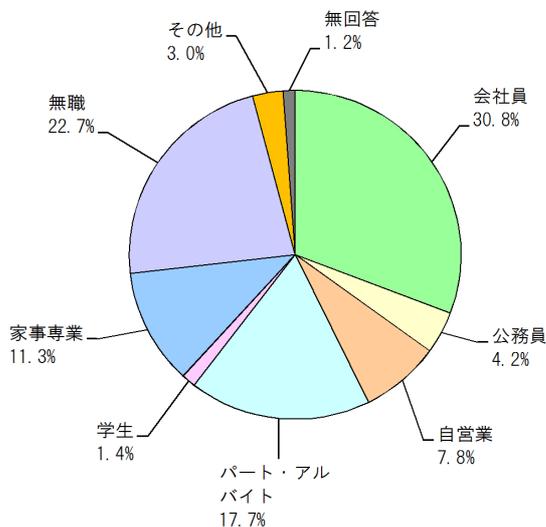


設問3: あなたの職業をお答えください。

(兼業の場合は主とする職業を選択肢の記号から1つ選んで○をつけてください。)

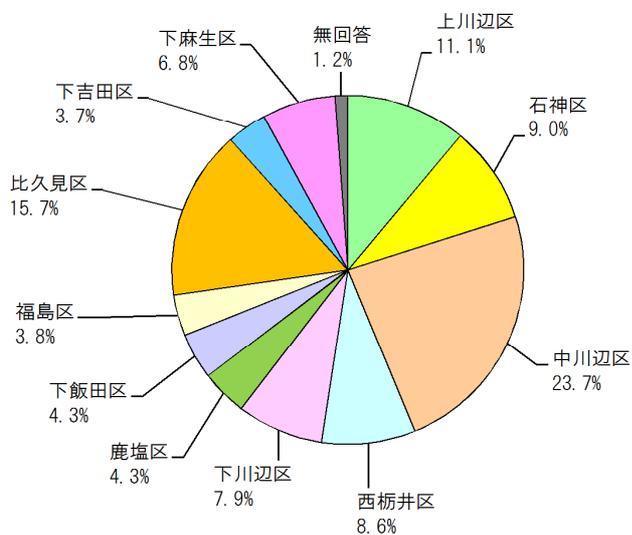
選択肢	件数	比率
1. 会社員	266	30.8%
2. 公務員	36	4.2%
3. 自営業	67	7.8%
4. パート・アルバイト	153	17.7%
5. 学生	12	1.4%
6. 家事専業	98	11.3%
7. 無職	196	22.7%
8. その他	26	3.0%
無回答	10	1.2%
計	864	100.0%

複数回答による集計除外4名



設問4: あなたの住んでいる地域をお答えください。
 (選択肢の記号から1つ選んで○をつけてください。)

選択肢	件数	比率
1. 上川辺区	96	11.1%
2. 石神区	78	9.0%
3. 中川辺区	206	23.7%
4. 西栃井区	75	8.6%
5. 下川辺区	69	7.9%
6. 鹿塩区	37	4.3%
7. 下飯田区	37	4.3%
8. 福島区	33	3.8%
9. 比久見区	136	15.7%
10. 下吉田区	32	3.7%
11. 下麻生区	59	6.8%
無回答	10	1.2%
計	868	100.0%

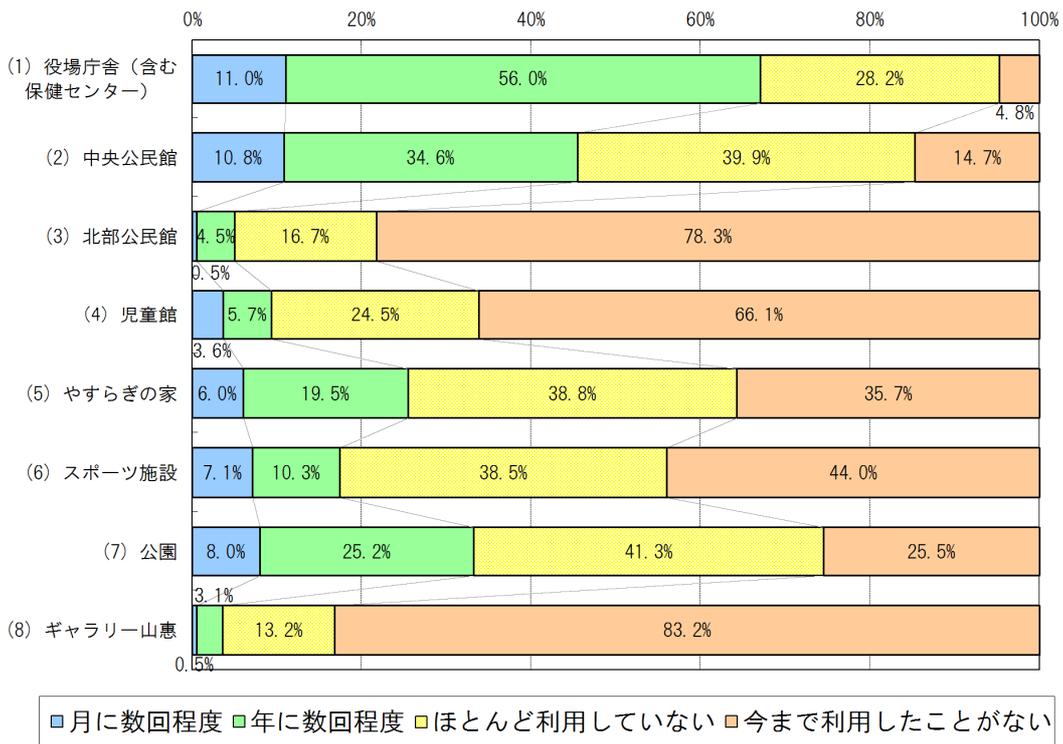


II. 川辺町の公共施設に対するあなたの利用状況及び満足度についてご意見をお聞かせください。

設問1：あなたが利用している町内の公共施設のうち、下記の施設についてお聞きします。「施設種別」ごとの利用頻度について、該当する選択肢の番号(1~4)から1つ選んで○をつけてください。

[件数]

施設種別	利用頻度					計
	月に数回程度	年に数回程度	ほとんど利用していない	今まで利用したことがない	無回答	
(1) 役場庁舎(含む保健センター)	90	457	230	39	52	868
(2) 中央公民館	87	278	320	118	63	866
(3) 北部公民館	4	35	130	609	89	867
(4) 児童館	28	44	189	510	97	868
(5) やすらぎの家	48	156	311	286	66	867
(6) スポーツ施設	56	81	303	346	81	867
(7) 公園	63	199	326	201	79	868
(8) ギャラリー山恵	4	24	104	653	82	867

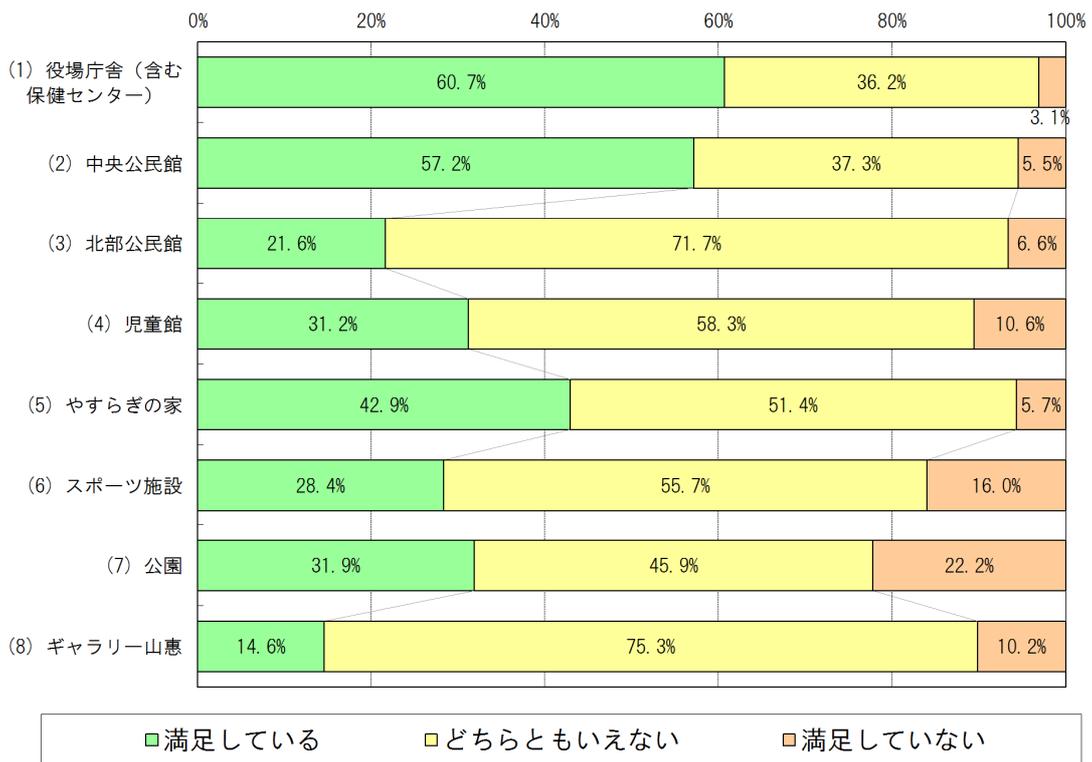


※無回答を除く。

設問2：あなたが利用している町内の公共施設のうち、下記の施設についてお聞きします。「施設種別」ごとの①施設数、②アクセス状況、③利用可能時間、④利用料金の満足度について、下欄【選択肢】1～3の番号から1つを選んで○をつけてください。(利用したことのある施設種別のみのお答えで構いません。)

①施設数 [件数]

施設種別	満足度				計
	満足している	どちらともいえない	満足していない	無回答	
(1) 役場庁舎(含む保健センター)	409	244	21	194	868
(2) 中央公民館	343	224	33	268	868
(3) 北部公民館	78	259	24	507	868
(4) 児童館	124	232	42	470	868
(5) やすらぎの家	218	261	29	360	868
(6) スポーツ施設	133	261	75	398	867
(7) 公園	172	248	120	328	868
(8) ギャラリー山恵	53	274	37	504	868

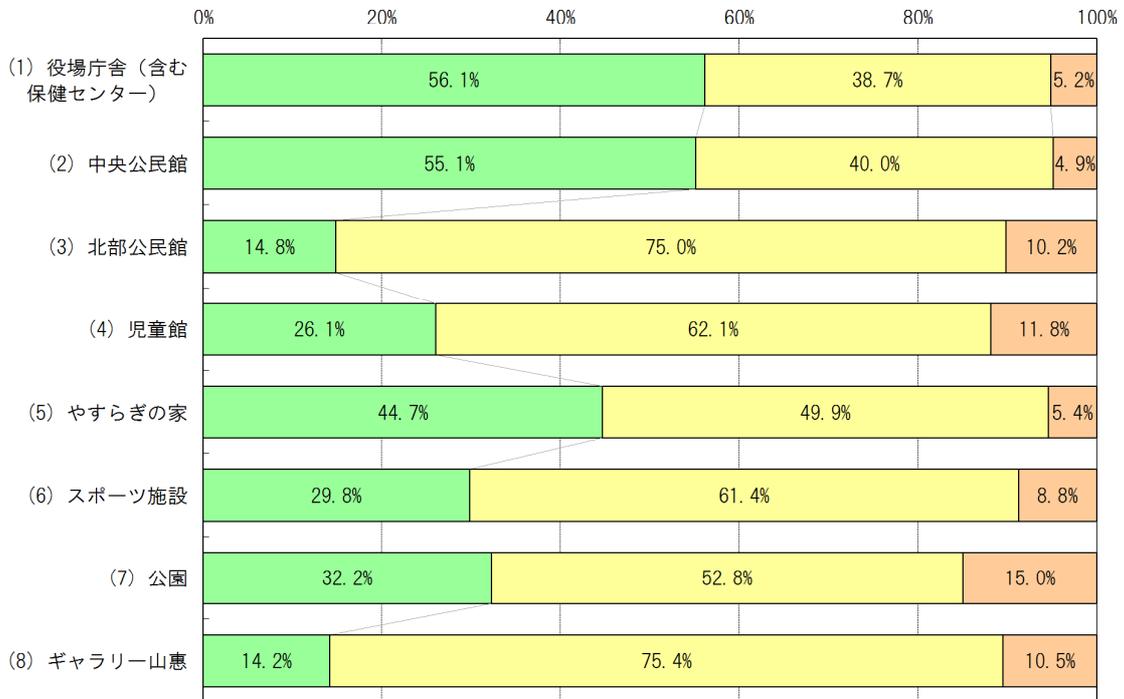


※無回答を除く。

②アクセス状況

[件数]

施設種別	満足度				計
	満足している	どちらともいえない	満足していない	無回答	
(1) 役場庁舎(含む保健センター)	358	247	33	230	868
(2) 中央公民館	317	230	28	293	868
(3) 北部公民館	51	258	35	524	868
(4) 児童館	99	236	45	488	868
(5) やすらぎの家	214	239	26	389	868
(6) スポーツ施設	136	280	40	412	868
(7) 公園	166	272	77	353	868
(8) ギャラリー山恵	50	266	37	515	868



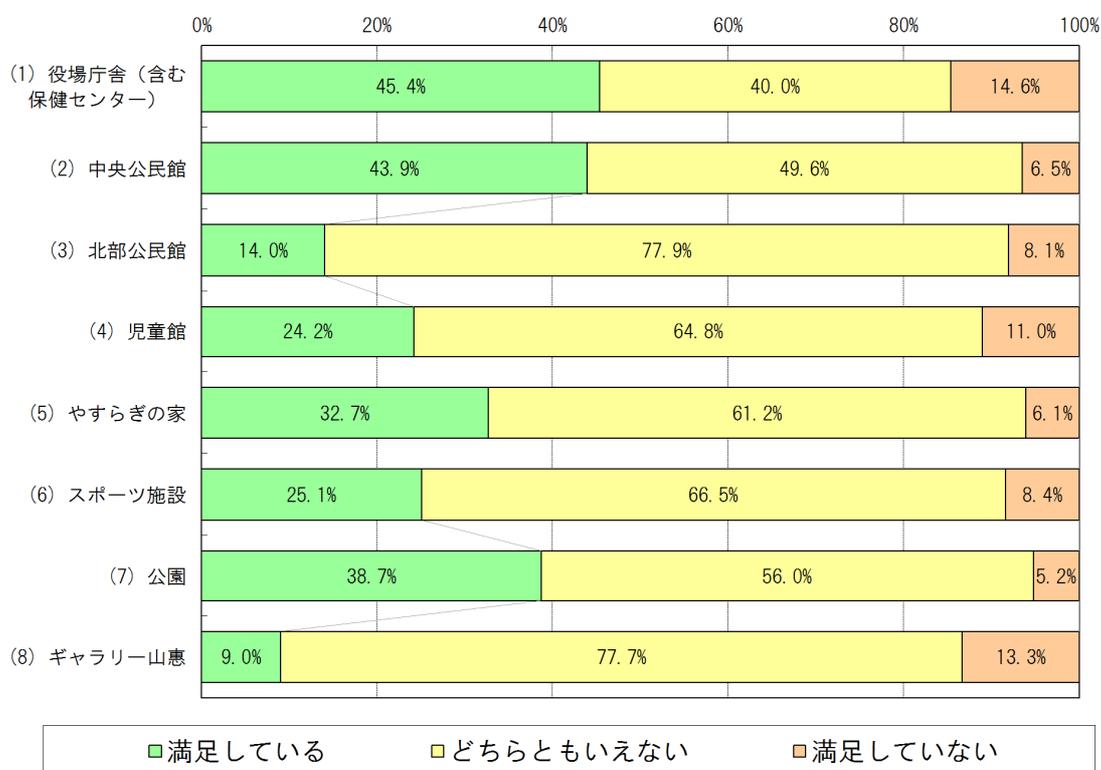
■ 満足している
 ■ どちらともいえない
 ■ 満足していない

※無回答を除く。

③利用可能時間

[件数]

施設種別	満足度				計
	満足している	どちらともいえない	満足していない	無回答	
(1) 役場庁舎(含む保健センター)	288	254	93	233	868
(2) 中央公民館	249	281	37	301	868
(3) 北部公民館	47	261	27	533	868
(4) 児童館	90	241	41	496	868
(5) やすらぎの家	155	290	29	394	868
(6) スポーツ施設	113	300	38	417	868
(7) 公園	192	278	26	372	868
(8) ギャラリー山恵	31	268	46	523	868

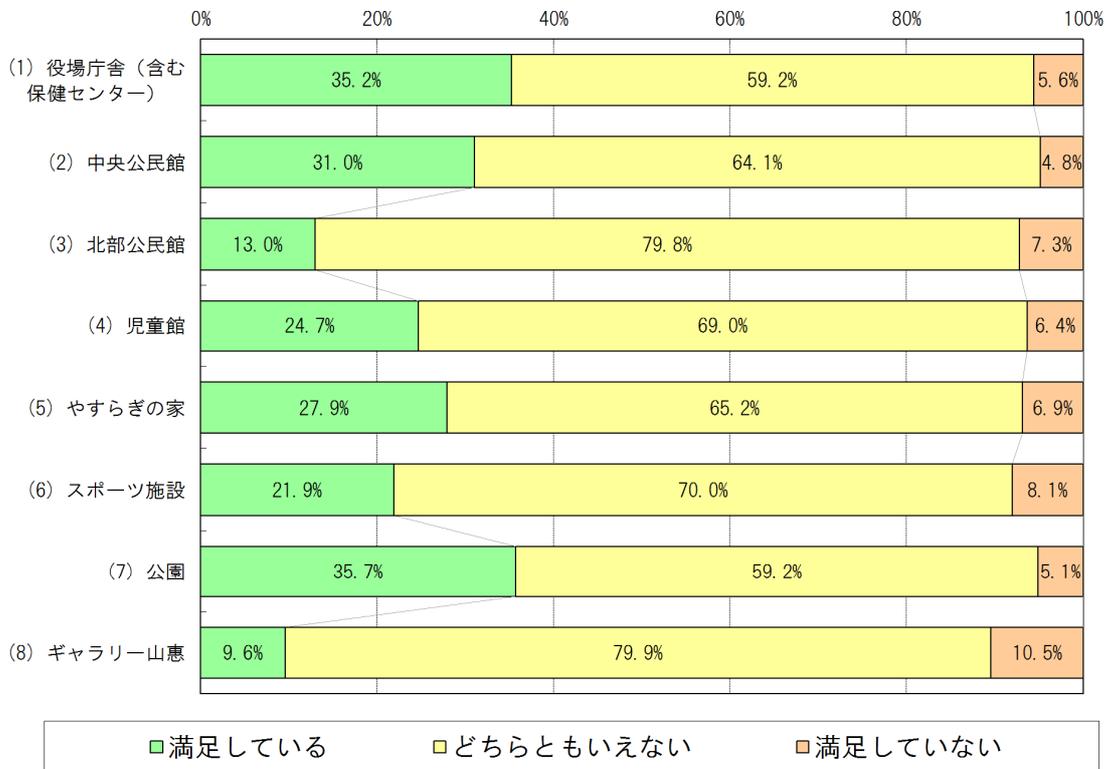


※無回答を除く。

④利用料金

[件数]

施設種別	満足度				計
	満足している	どちらともいえない	満足していない	無回答	
(1) 役場庁舎(含む保健センター)	200	336	32	300	868
(2) 中央公民館	160	331	25	352	868
(3) 北部公民館	43	264	24	537	868
(4) 児童館	89	249	23	507	868
(5) やすらぎの家	126	294	31	417	868
(6) スポーツ施設	95	304	35	433	867
(7) 公園	160	265	23	419	867
(8) ギャラリー山恵	32	267	35	534	868

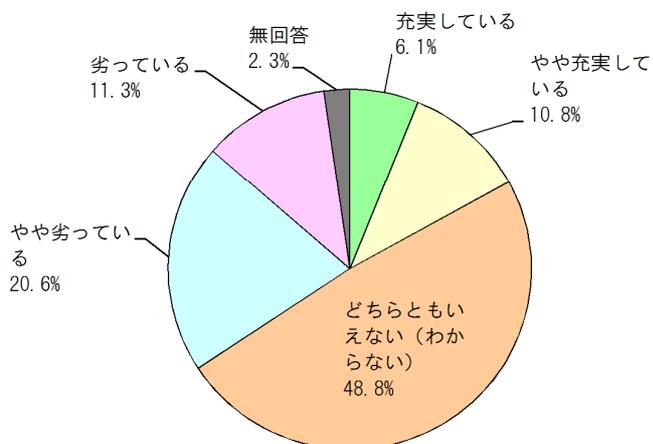


※無回答を除く。

設問3: 川辺町の公共施設の数や規模は、他の市町村に比べて充実していると思いますか？
(選択肢の記号から1つ選んで○をつけてください。)

選択肢	件数	比率
1. 充実している	53	6.1%
2. やや充実している	94	10.8%
3. どちらともいえない(わからない)	423	48.8%
4. やや劣っている	179	20.6%
5. 劣っている	98	11.3%
無回答	20	2.3%
計	867	100.0%

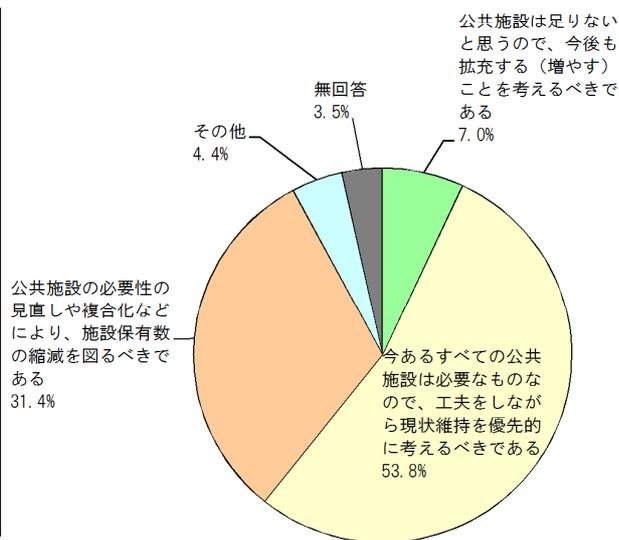
複数回答による集計除外1名



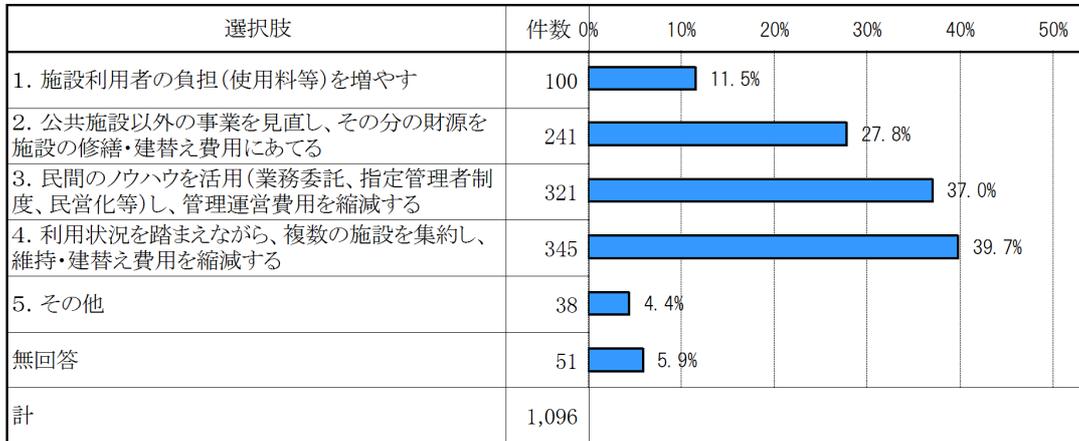
設問4: 川辺町の人口は、現在、減少傾向にあり、今後もその傾向は続くと推計されています。また、財政面においては、税収の伸び悩みや社会保障費の増加などにより、厳しい状況が続くことが予想されます。こうした状況などを踏まえ、公共施設の数について、考えに最も近いものを選んでください。
(選択肢の記号から1つ選んで○をつけてください。)

選択肢	件数	比率
1. 公共施設は足りないと思うので、今後も拡充する(増やす)ことを考えるべきである	60	7.0%
2. 今あるすべての公共施設は必要なものなので、工夫をしながら現状維持を優先的に考えるべきである	464	53.8%
3. 公共施設の必要性の見直しや複合化などにより、施設保有数の縮減を図るべきである	271	31.4%
4. その他	38	4.4%
無回答	30	3.5%
計	863	100.0%

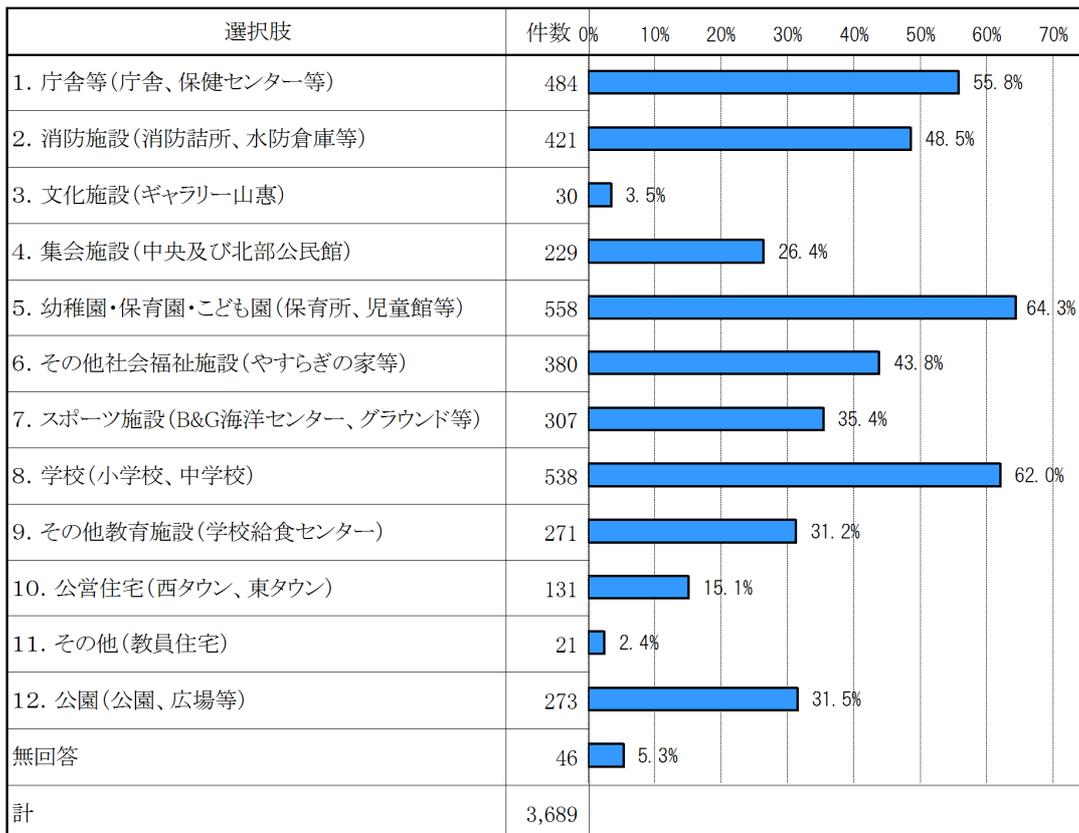
複数回答による集計除外5名



設問5： 厳しい財政状況の中で公共施設を維持するためには、経営努力を行うことはもちろんのことですが、さらなるコスト縮減や財源確保に向けた取り組みも必要です。このことについて、どのように進めていくべきだとお考えですか？（複数回答可）



設問6： 町が将来にわたり優先的に維持すべきと考える公共施設の施設区分を選んでください。（複数回答可）



設問7： 将来的な見通しを踏まえて、今後の道路、橋、上下水道などのインフラの整備や管理運営についてはどのように進めていくべきだとお考えですか？
 (選択肢の記号から1つ選んで○をつけてください。)

選択肢	件数	比率
1. まだ不足しており、今後も拡充すべきである	106	12.3%
2. 新規建設・整備は最小限とし、既存施設の現状維持を基本とすべきである	482	55.9%
3. その他	25	2.9%
4. わからない	200	23.2%
5. 無回答	50	5.8%
計	863	100.0%

複数回答による集計除外5名

